



合計76.1%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがあると回答

「環境」に関する調査結果まとめ（2022）

生活者アンケートによるリスパック独自調査

2020年・2021年に実施した際の結果も掲載
※2020年の調査は今回の調査対象・エリアと異なります

2022年2月

【アンケート概要】

- 調査方法 Webアンケートシステム
- 実施時期 2022年1月21日～1月24日
- 調査人数 1,000名

エリア	年代・性別					年代・性別					合計
	20代・女性	30代・女性	40代・女性	50代・女性	60代以上・女性	20代・男性	30代・男性	40代・男性	50代・男性	60代以上・男性	
①北海道・東北	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
②首都圏・関東	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
③信越・北陸・中部	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
④近畿	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
⑤中国・四国・九州・沖縄	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
合計	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	1,000名

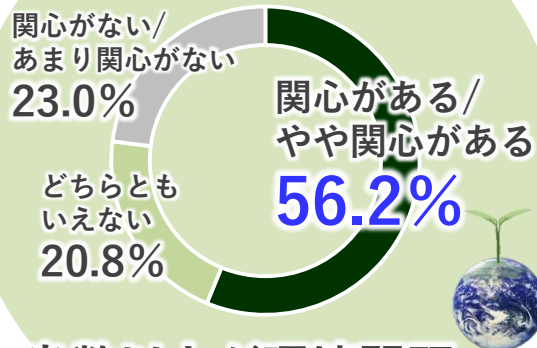
※2020年1月の調査対象は首都圏男女500名（今回の調査と調査エリアが異なります）

■ 質問項目

質問	掲載ページ
環境問題・環境対策への関心・関心のある項目	P4・5
普段からできる個人での環境にやさしい行動について ①ごみの分別の実施 ②マイバッグなどの活用 ③使い捨てプラ製品の使用抑制 ④環境にやさしい商品の購入 ⑤リサイクル品回収への協力 ⑥食品ロスを減らす行動 ⑦水光熱の無駄づかいを減らす行動 ⑧公共交通機関での移動 ⑨エコドライブの実施 ⑩省エネ型の家電や電気器具の使用	P6～15
カーボンニュートラルの認知度	P17
環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージ	P18～20
使い捨てプラスチックの使用状況	P21
マイバッグとレジ袋について	P22
プラスチック製食品容器のイメージ	P23
環境にやさしいイメージの素材	P24・25
バイオマスプラスチックの認知度	P26・27
環境に配慮した食品容器と商品購入との関係	P28～31
分かりやすい環境訴求方法	P32
プラスチックの必要性	P33

◆環境問題・環境対策への関心

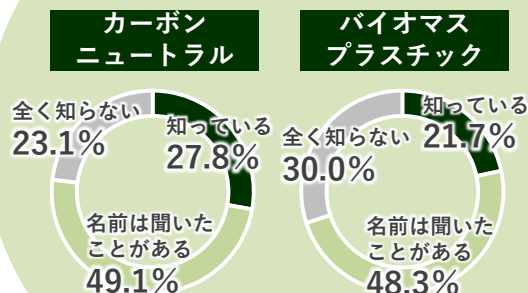
P4



半数以上が環境問題・環境対策に関心がある

◆カーボンニュートラル・バイオマスプラスチックの認知度

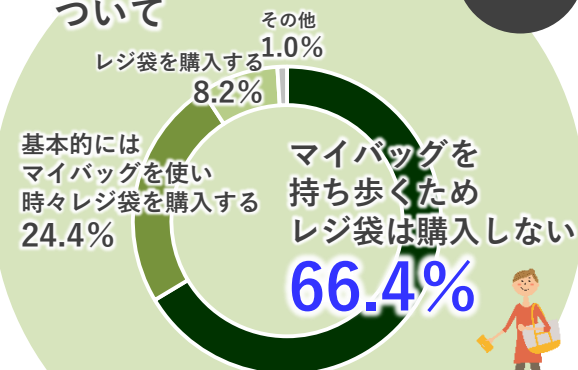
P17・26



7割以上が「名前を聞いたことがある」と回答

◆マイバッグとレジ袋について

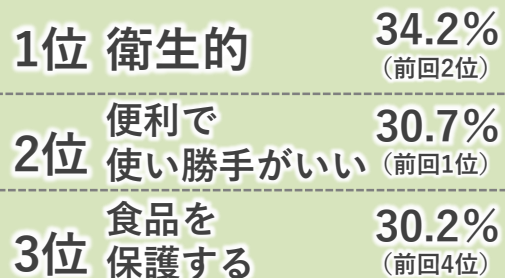
P22



合計9割以上がマイバッグを使う習慣がある

◆プラスチック製食品容器のイメージ

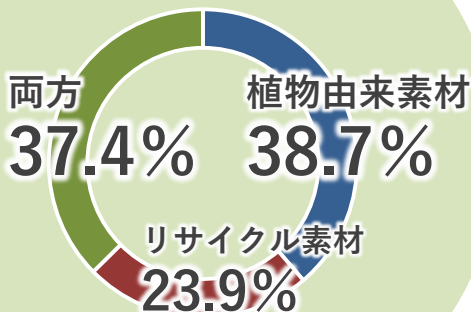
P23



前回と比較し「衛生的」が1位に上昇

◆環境にやさしいイメージの素材

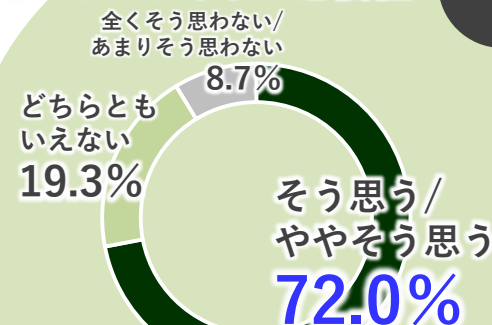
P24



合計76.1%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがある

◆プラスチックの必要性

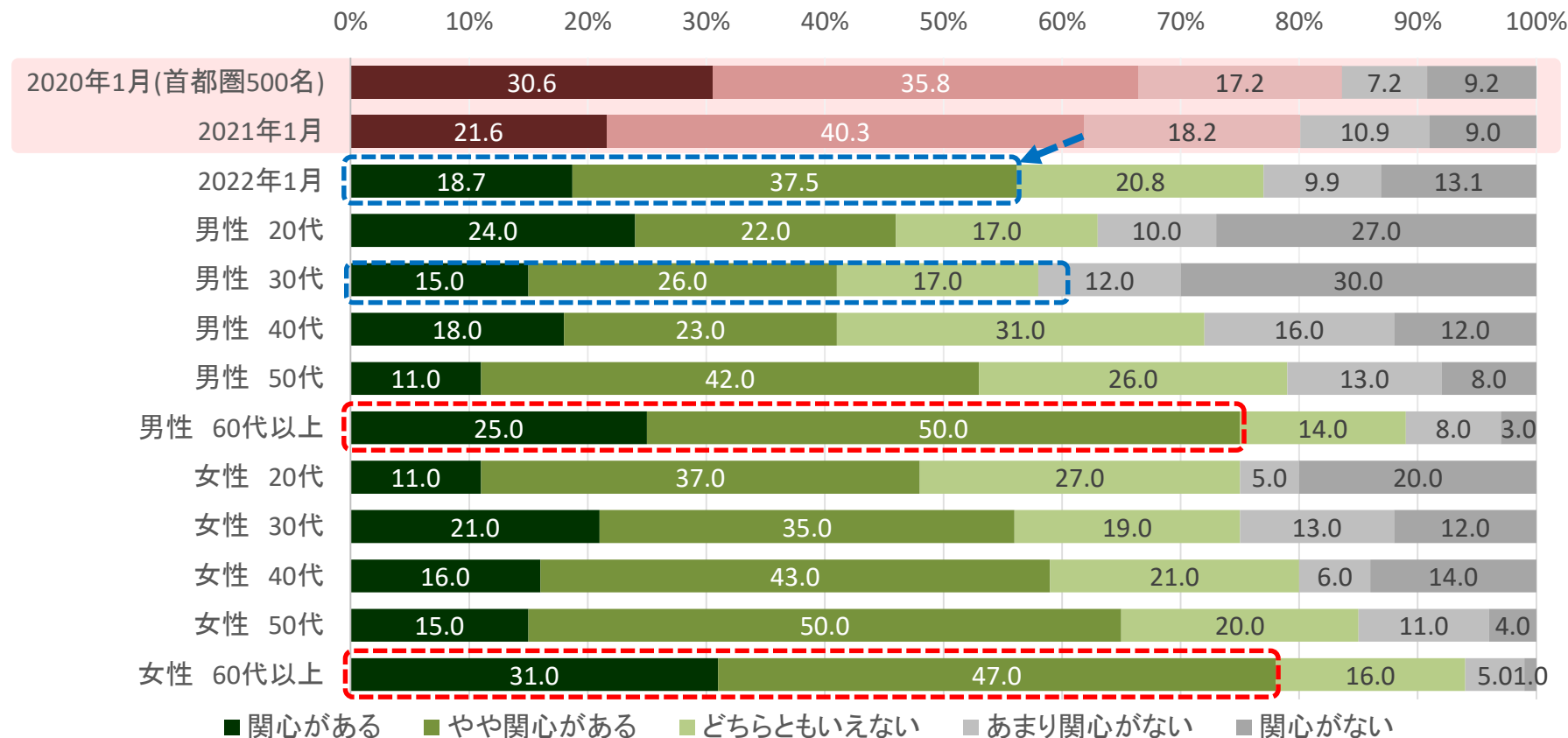
P33



合計72.0%が生活の中にプラスチックが必要だと感じている

昨今、様々な環境問題が話題にあがりますが、あなたは環境問題や環境対策への関心はありますか？（単一回答）

N数=1,000名



「関心がある・やや関心がある」と回答したのが合計56.2%。

前回と比較すると、環境への関心はやや減少気味に。

60代以上の環境への関心が高く

「関心がある・やや関心がある」の合計が、男女ともに7割を超える。

あなたが環境問題について関心のある項目を教えてください。（複数回答）

N数 = 770名

※Q1で「あまり関心がない」「関心がない」と回答した方を除き回答

※「気候変動」「海洋汚染」は今回より追加項目のため、2021年データはありません。



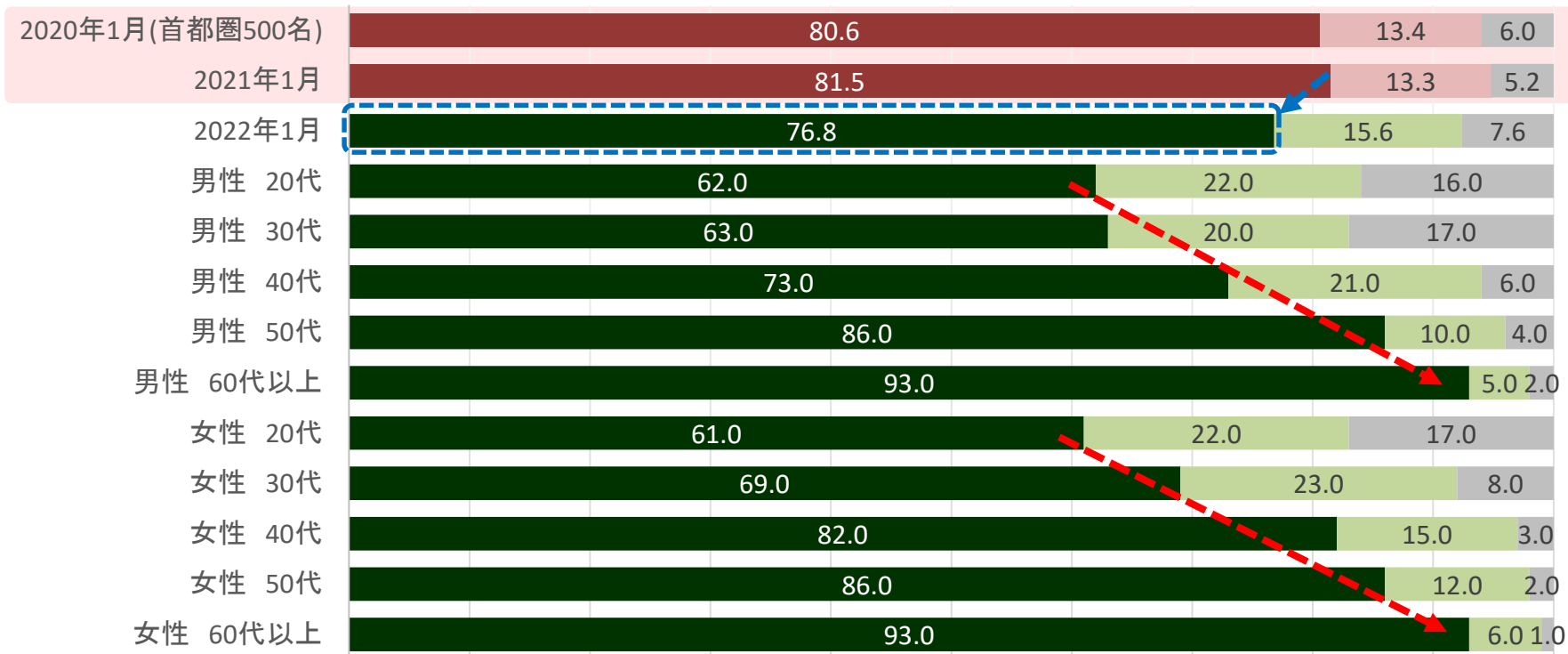
関心のある環境問題は、1位が「地球温暖化」で68.3%。
 2位「ごみの減量やリサイクル」64.2%・3位「食品ロス」54.4%。
 前回と比較し、上位3項目の順位は不動であった。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数 = 1,000名

【ごみをきちんと分別している】（単一回答）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ いつも実施している ■ 時々実施している ■ 実施していない

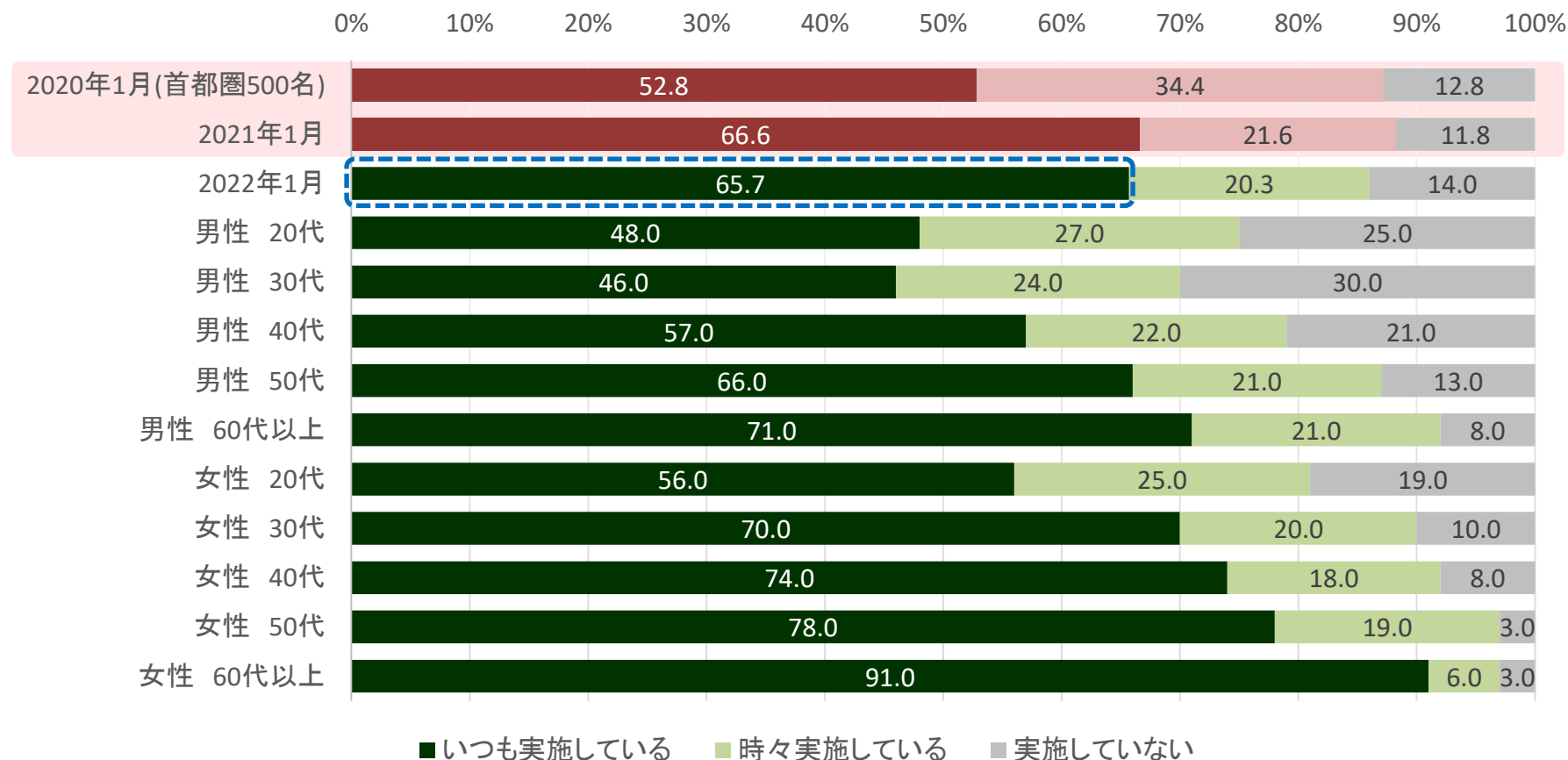
「いつも実施している」の回答率は76.8%と高いものの
前回と比較するとわずかに減少。

年代が高くなるにつれ、「いつも実施している」の割合は大きくなり
60代以上は男女ともに9割を超える。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【マイバッグ・マイボトルなどの活用】（単一回答）



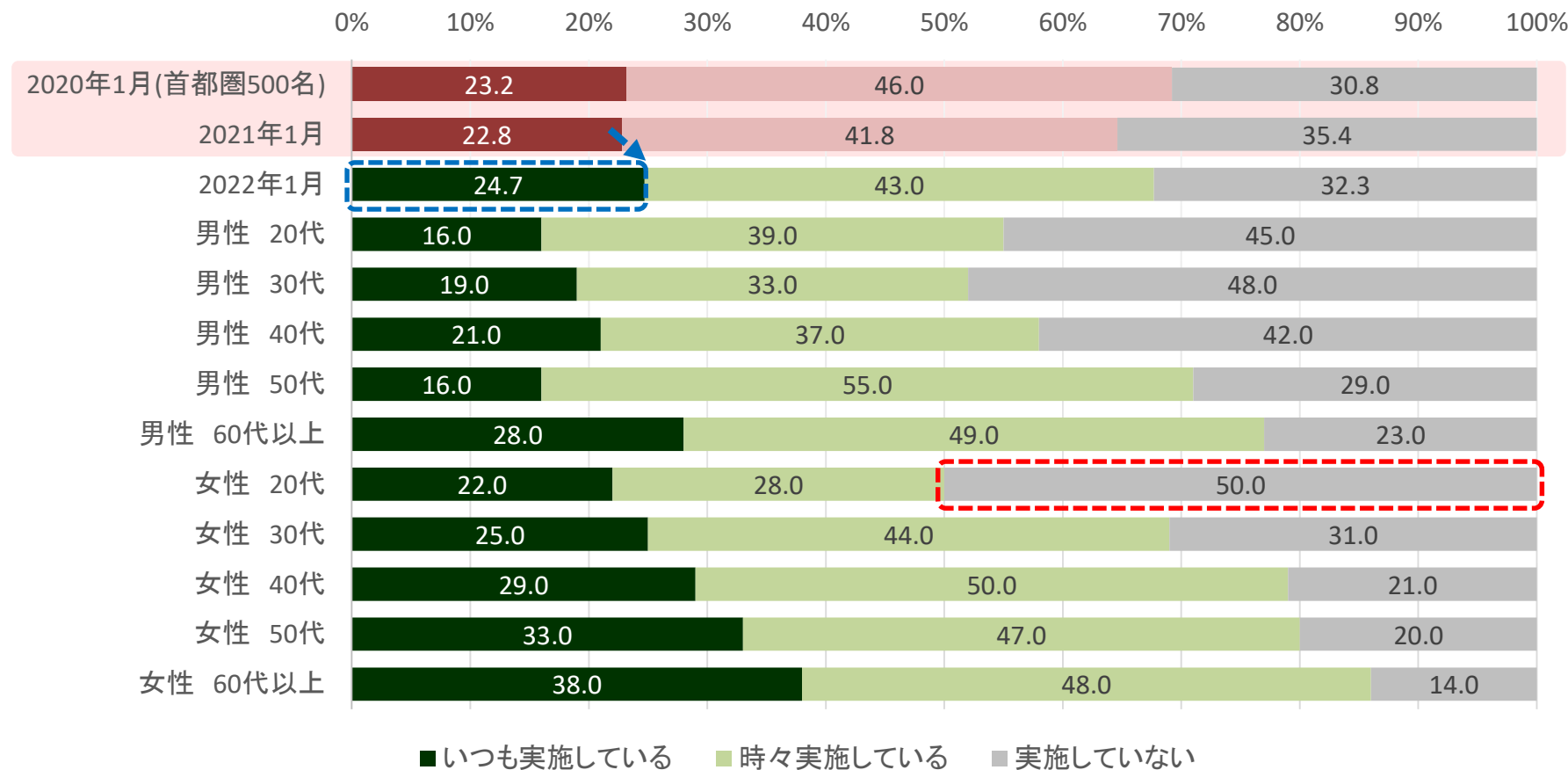
「いつも実施している」の回答率は65.7%となり、
前回と大きな変化は見られなかった。

どの年代も、男性より女性の方が「いつも実施している」の割合が大きい。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数 = 1,000名

【使い捨てプラスチック製品をなるべく使用しない】（単一回答）

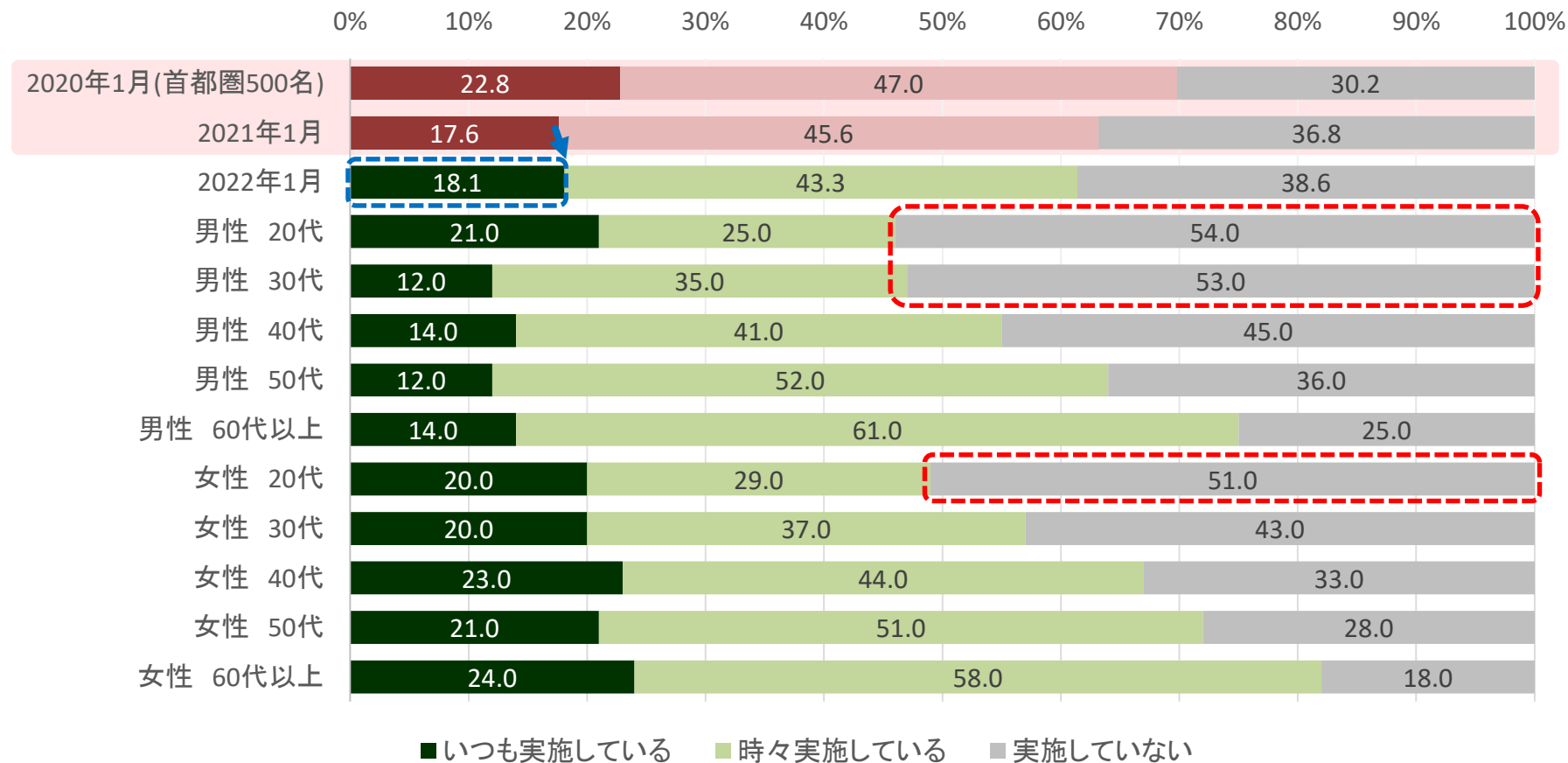


「いつも実施している」の回答率は24.7%となり、前回と比較しわずかに増加。
一方で、20代女性の半数が「実施していない」と回答している。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【環境にやさしい製品・商品を選んで購入する】（単一回答）

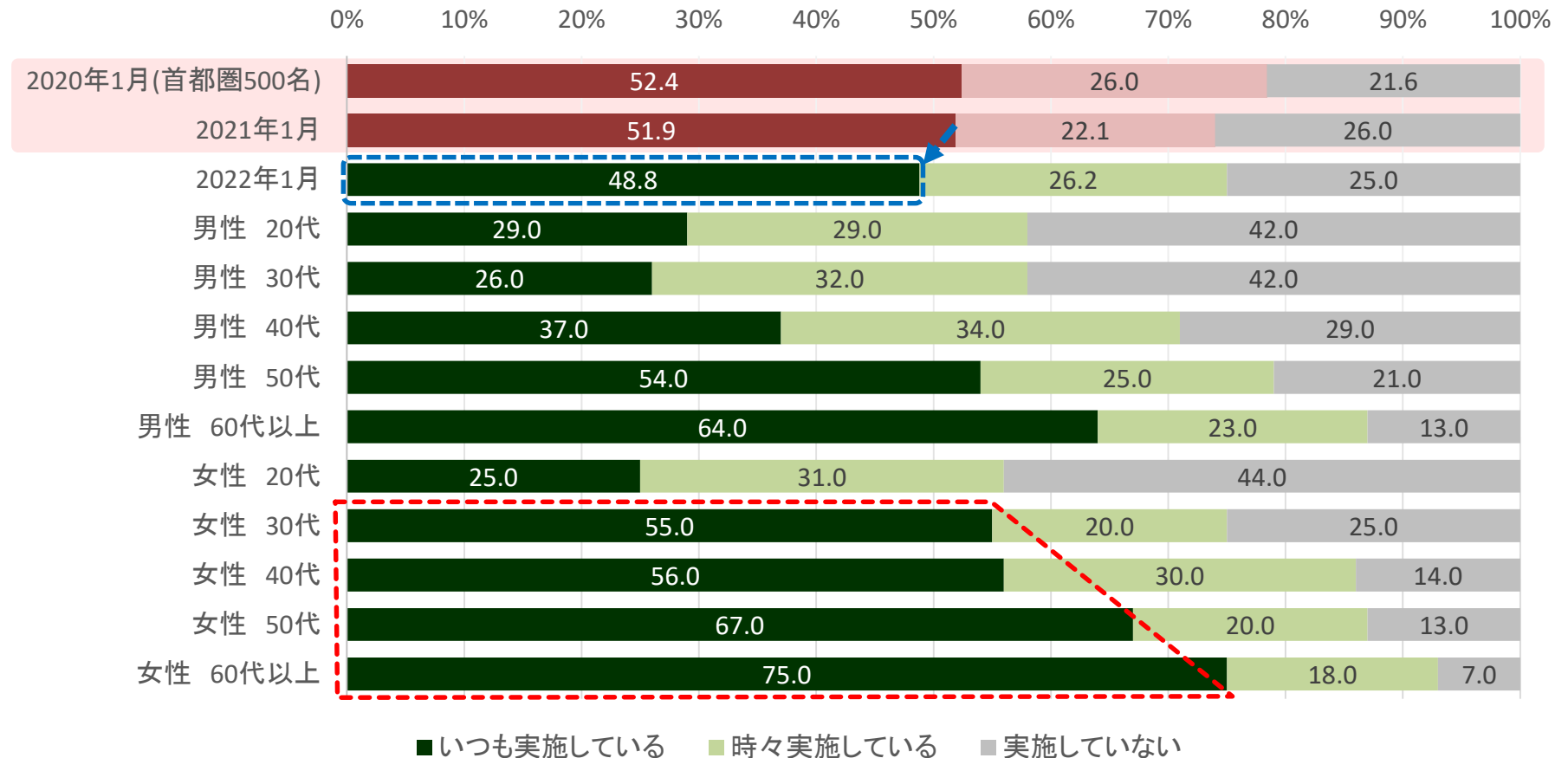


「いつも実施している」の回答率は18.1%となり、前回と比較しわずかに増加。
一方で、若年層では半数以上が「実施していない」と回答している。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【牛乳パックや食品トレーなどリサイクル品回収への協力】（単一回答）



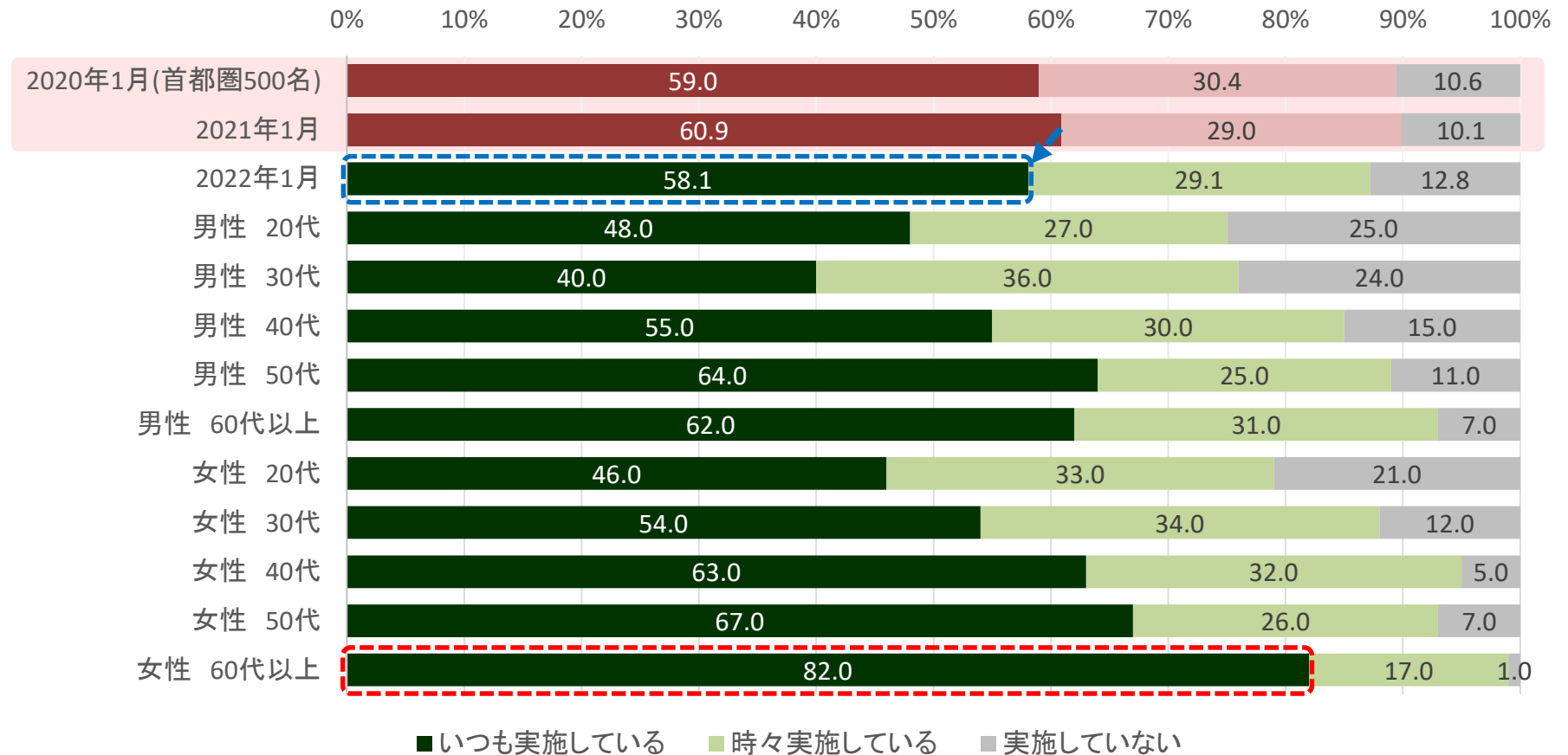
「いつも実施している」の回答率は48.8%と、前回と比較しわずかに減少。

女性は、20代を除いたすべての年代で半数以上が「いつも実施している」と回答。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数 = 1,000名

【食べ残しや食材の無駄（食品ロス）を減らす】（単一回答）



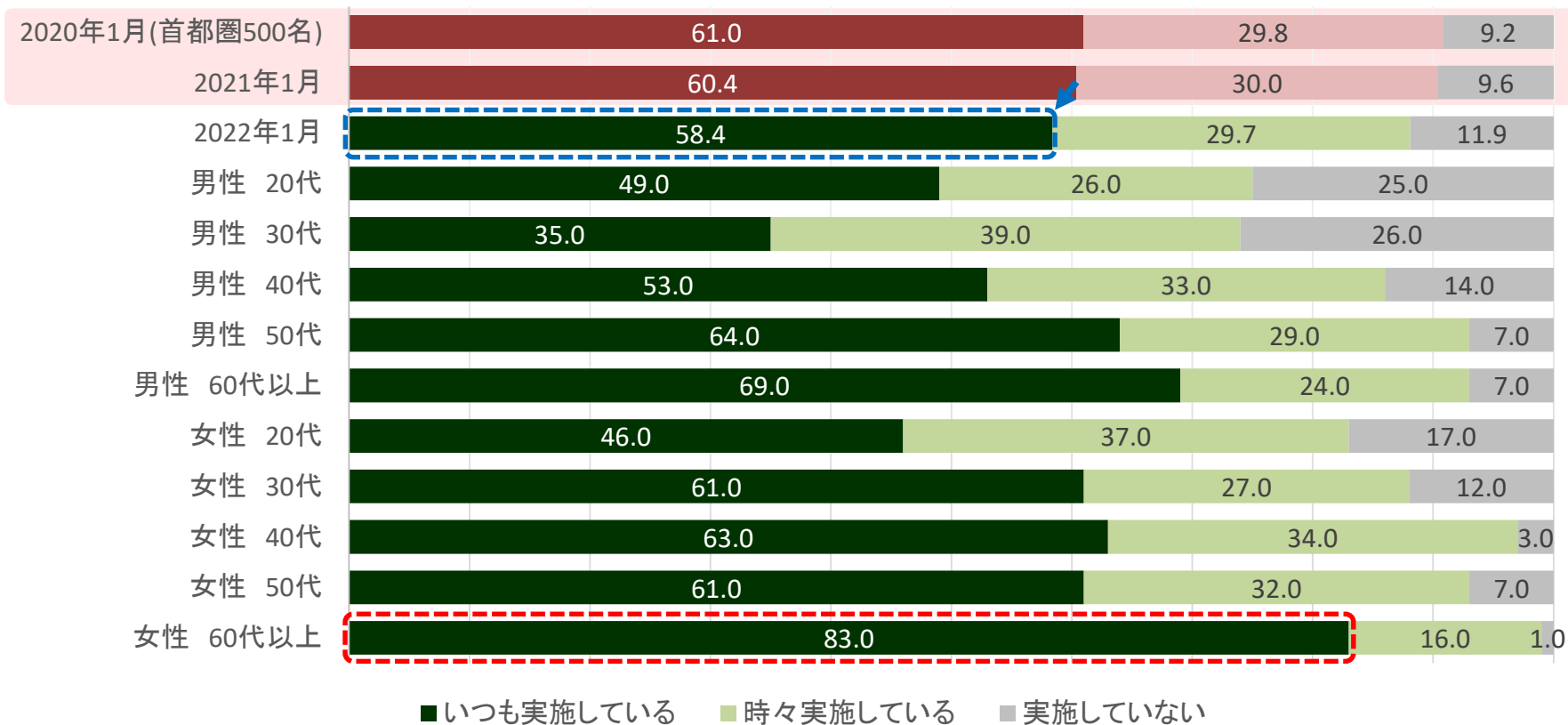
「いつも実施している」の回答率は58.1%と、前回と比較しわずかに減少。
 60代以上の女性は、82.0%が「いつも実施している」と回答しており
 他の年代・性別よりも回答率が高い。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数 = 1,000名

【電気・ガス・水などの無駄づかいに気を付ける】（単一回答）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

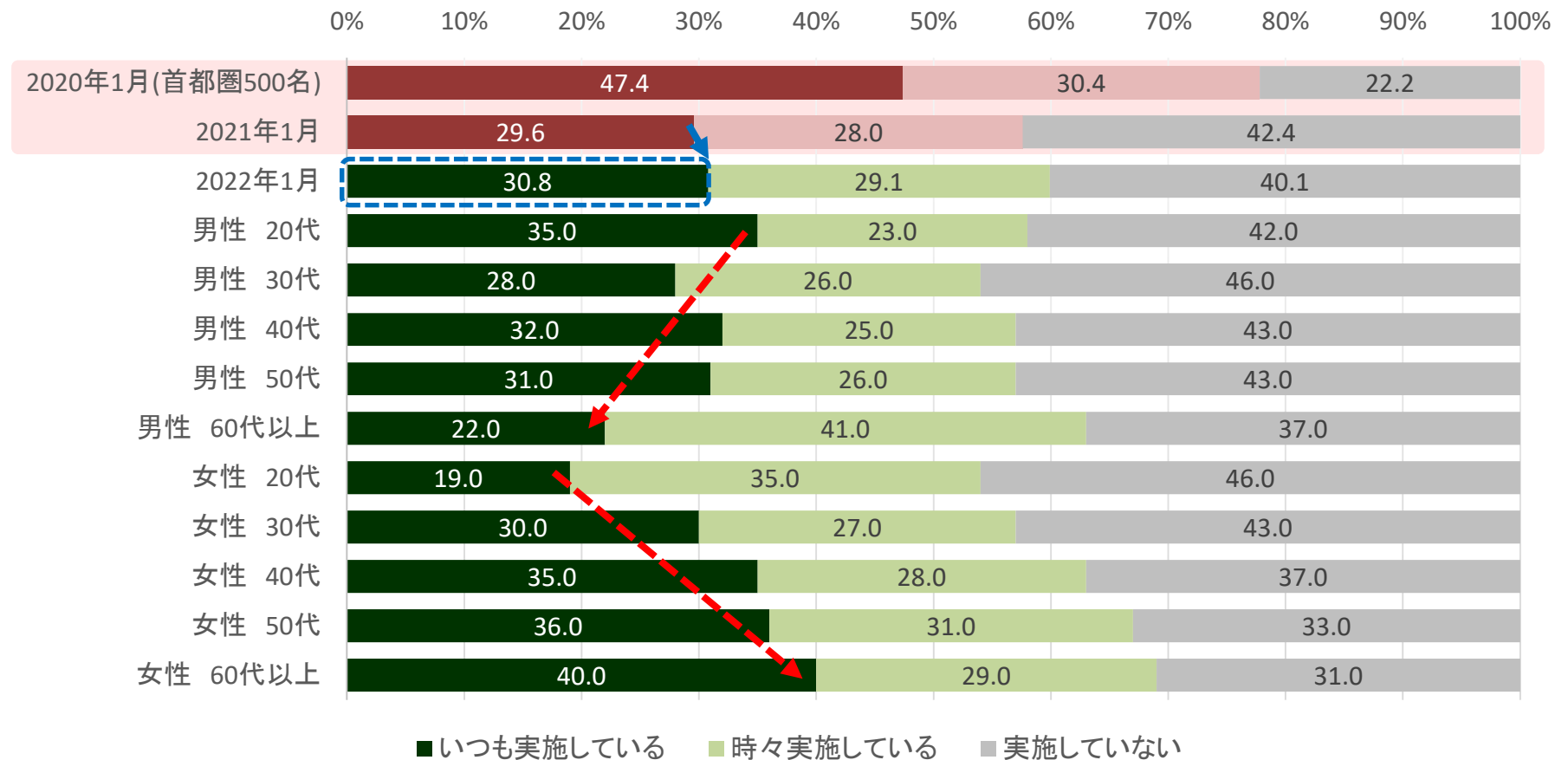


「いつも実施している」の回答率は58.4%と、前回と比較しわずかに減少。
 60代以上の女性は、83.0%が「いつも実施している」と回答しており
 他の年代・性別よりも回答率が高い。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【車利用を控え公共交通機関で移動する】（単一回答）

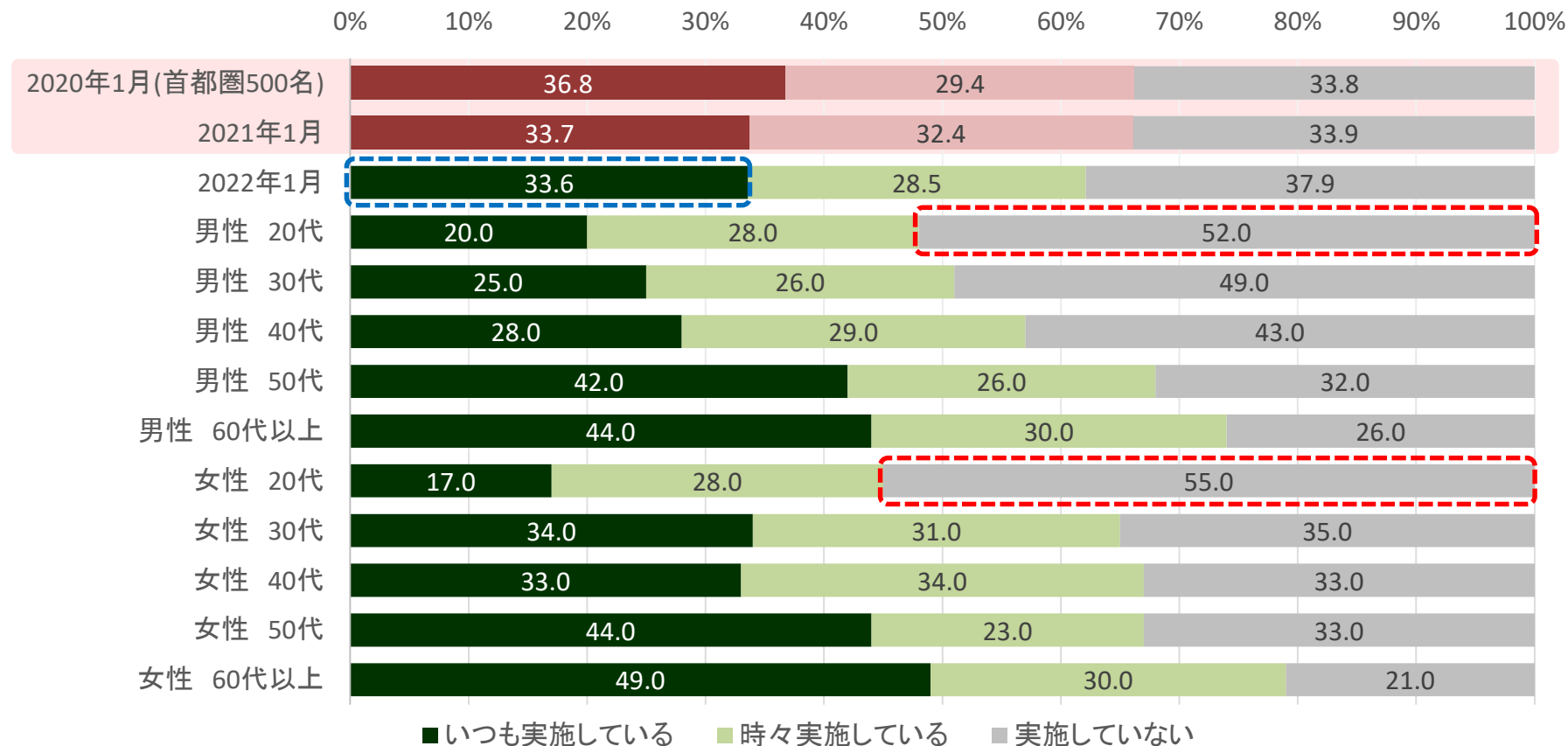


「いつも実施している」の回答率は30.8%と、前回と比較しわずかに増加。
 男性は20代が最も実施しており、60代以上が実施していないが、
 女性は60代以上が最も実施しており、20代が実施していないという結果に。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【アイドリングストップなどエコドライブの実施】（単一回答）



「いつも実施している」の回答率は33.6%となり、
前回と大きな変化は見られなかった。

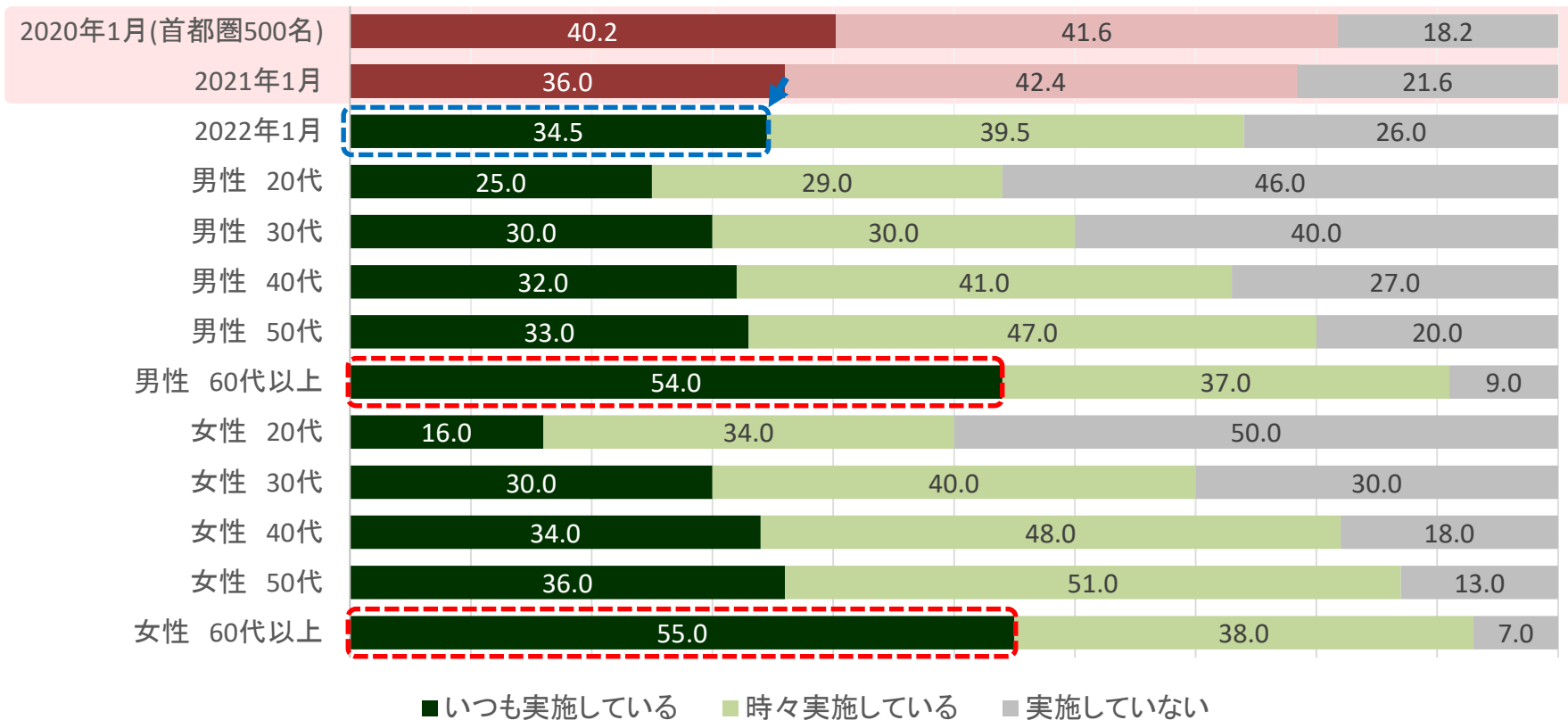
男女ともに、50・60代以上は実施している割合が大きい
が、20代は半数以上が「実施していない」と回答。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【省エネ型の家電や照明器具を使用する】（単一回答）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



「いつも実施している」の回答率は34.5%と、前回と比較しわずかに減少。
男女ともに60代以上は、半数以上が「いつも実施している」と回答。

合計56.2%が環境問題・環境対策に関心を示している

「関心がある」18.7%、「やや関心がある」37.5%。

前回の「関心がある/やや関心がある」の合計61.9%より回答率は下がるが、半数以上は関心がある。

関心のある環境問題は「地球温暖化」が1位

1位「地球温暖化」68.3%・2位「ごみの減量やリサイクル」64.2%・3位「食品ロス」54.4%。

前回と比較し、上位3項目の順位は不動であった。

環境にやさしい行動で最も実施されているのは「ごみの分別」

「いつも実施している」76.8%・「時々実施している」15.6%。合計で92.4%と9割を超える。

合計86.0%がマイバッグ・マイボトルなどを活用していると回答

「いつも実施している」65.7%・「時々実施している」20.3%。

合計61.4%が環境にやさしい商品購入を実施していると回答

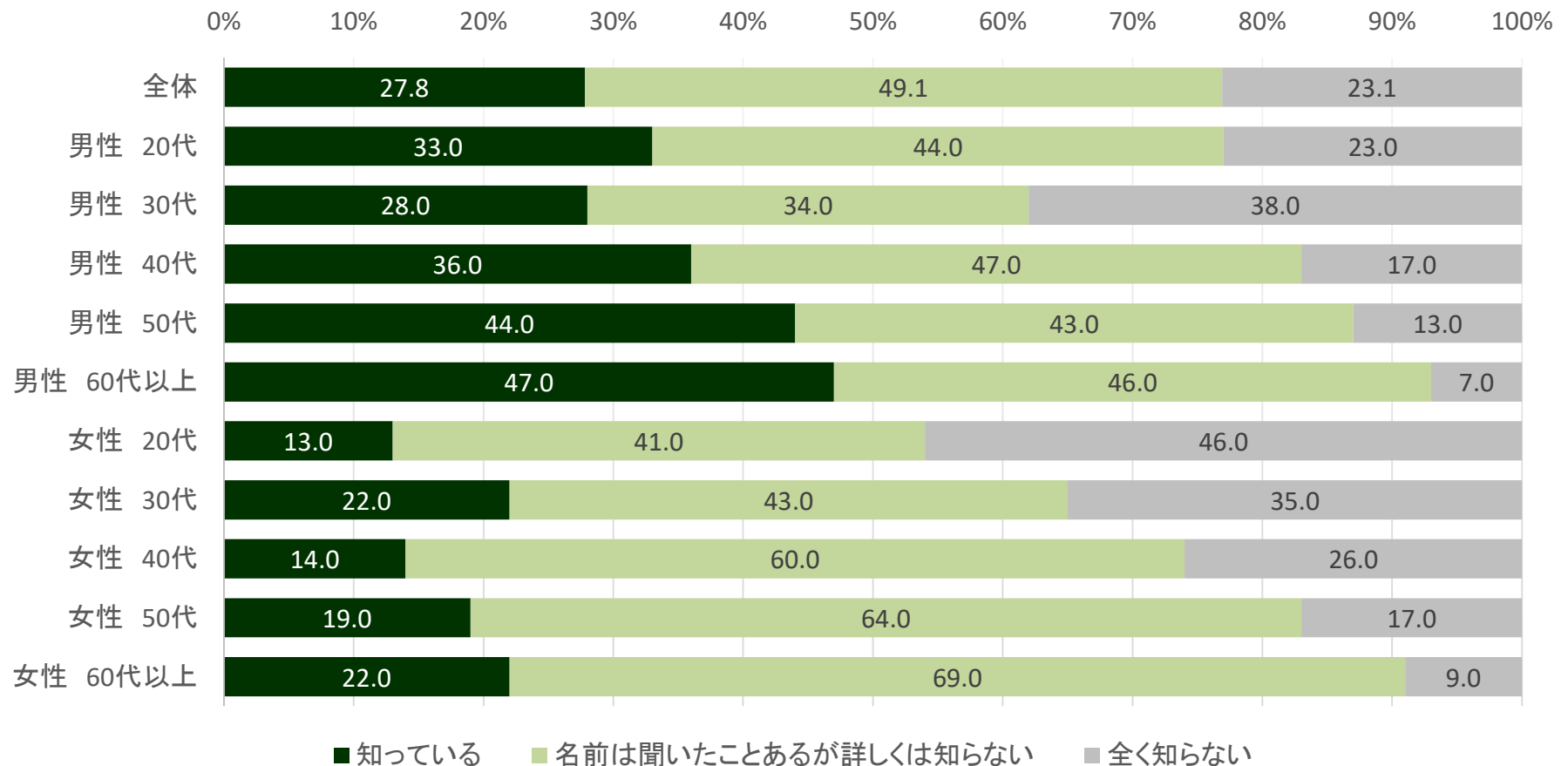
「いつも実施している」18.1%・「時々実施している」43.3%。

前回は「いつも実施している」17.6%であり、わずかに回答率が増加している。

「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか？（単一回答）

N数 = 1,000名

※前回は調査していないため2020年・2021年データはありません。

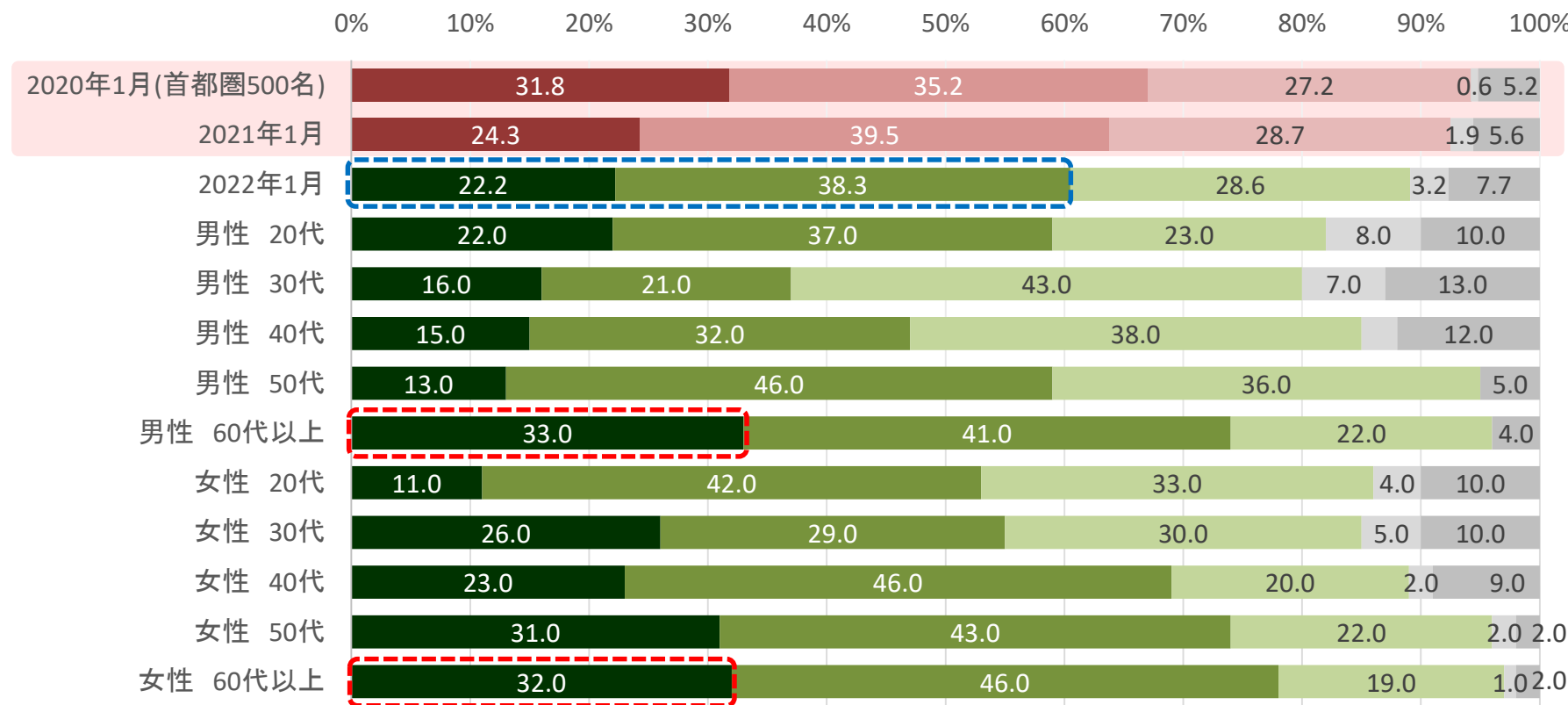


「知っている」27.8%・「名前は聞いたことがある」49.1%。
 女性よりも男性の方が「知っている」の回答率が高い。

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数 = 1,000名

【環境に配慮した商品やパッケージを提供する企業はイメージがいい】 (単一回答)



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

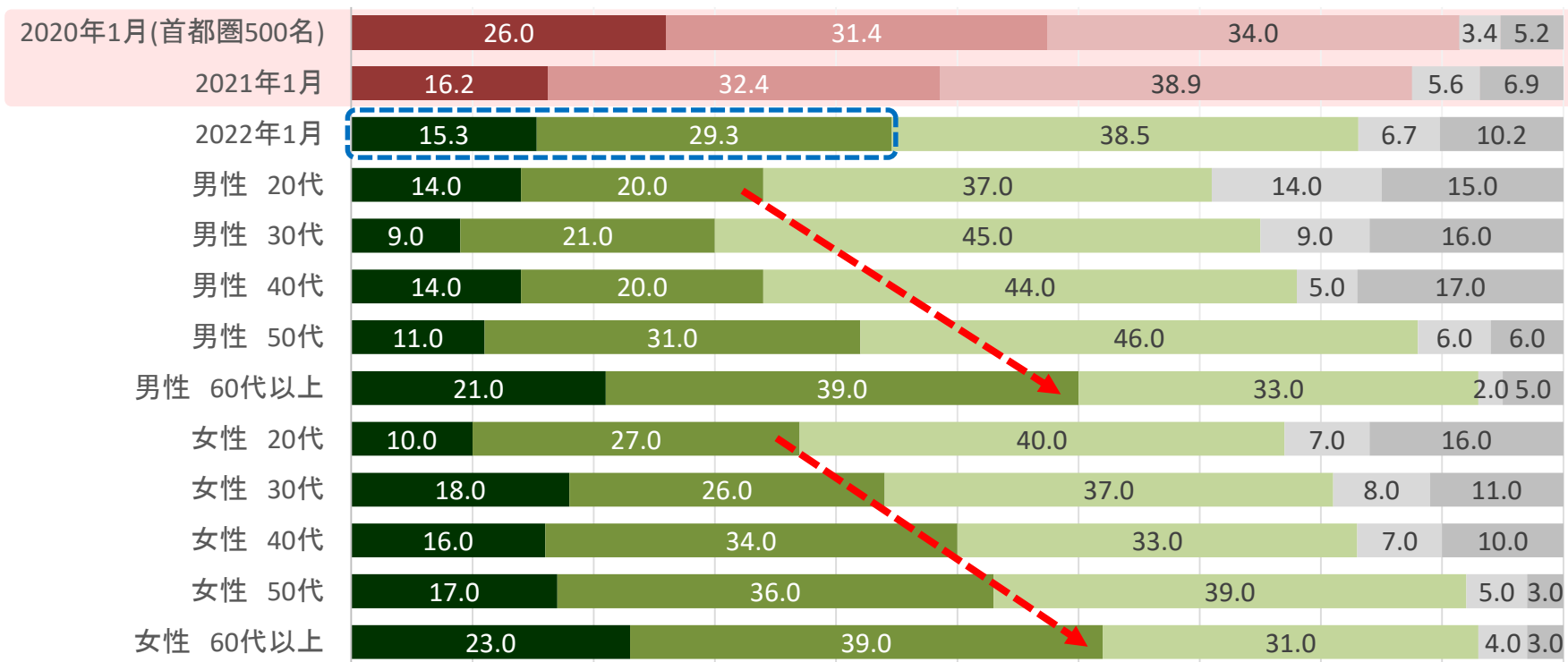
「当てはまる」22.2%・「どちらかといえば当てはまる」38.3%
男女ともに60代以上の「当てはまる」の回答率が高い。

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数=1,000名

【多少不便になっても環境に配慮した商品や環境に配慮したパッケージを使用した商品を使用・購入したい】
(単一回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

「当てはまる」15.3%・「どちらかといえば当てはまる」29.3%

男女ともに年代が高くなるにつれ、

「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」の回答率が高くなる。

多少高くても環境に 配慮した商品を購入したいか

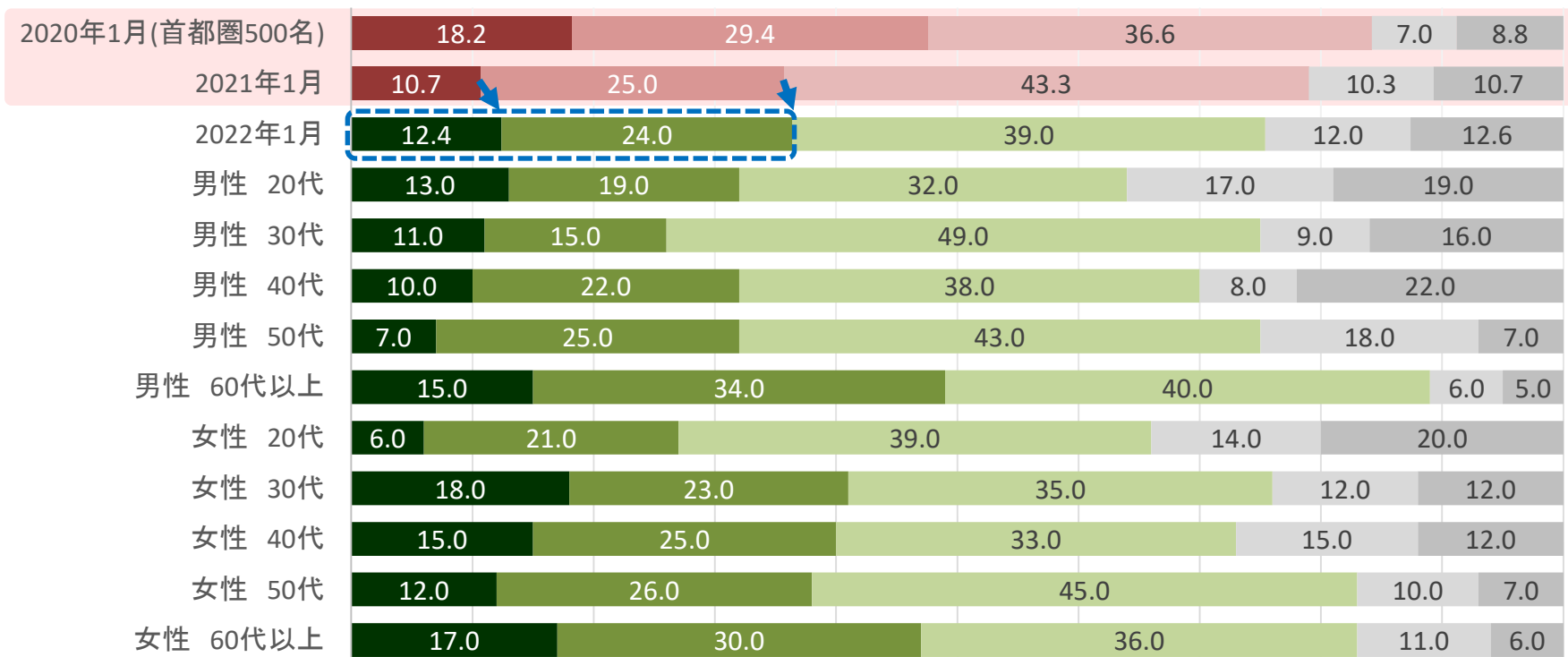
Q5-3

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数 = 1,000名

【多少価格が上がったとしても環境に配慮した商品や環境に配慮したパッケージを使用した商品を使用・購入したい】 (単一回答)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

「当てはまる」12.4%・「どちらかといえば当てはまる」24.0%。

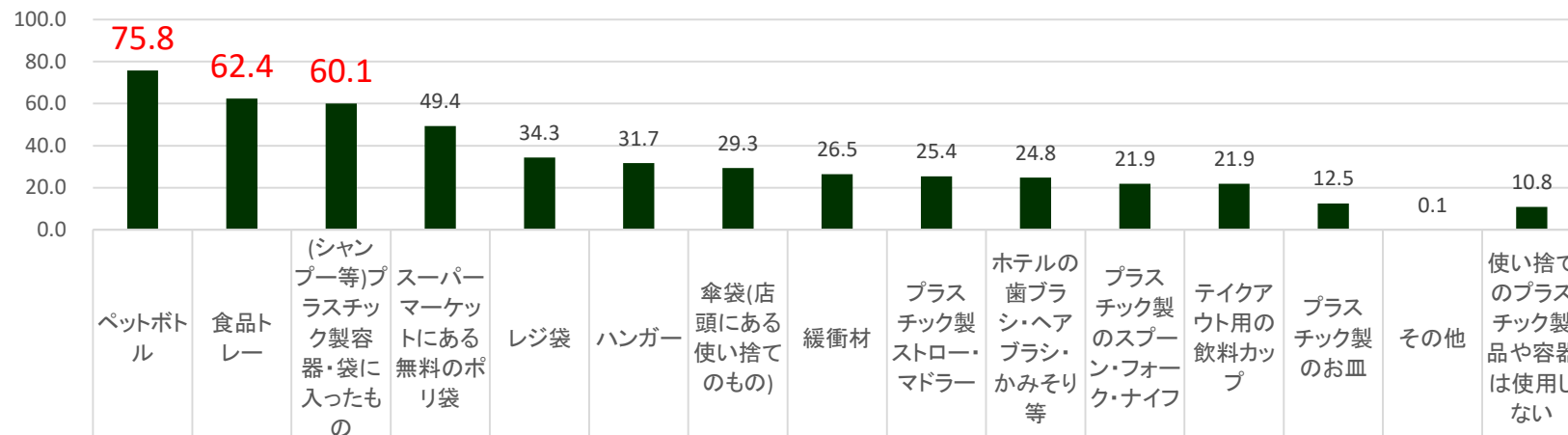
前回と比較しわずかに増加している。

しかし、価格が上がることもあり「どちらともいえない」が39.0%と最も回答率が高い結果に。

使い捨てのプラスチック製品や容器について、普段使うものを教えてください。（複数回答）

N数 = 1,000名

※前回は調査していないため2021年データはありません。



	ペットボトル	食品トレイ	(シャンプー等)プラスチック製容器・袋に入ったもの	スーパーマーケットにある無料のポリ袋	レジ袋	ハンガー	傘袋(店頭にある使い捨てのもの)	緩衝材	プラスチック製ストロー・マドラー	ホテルの歯ブラシ・ヘアブラシ・かみそり等	プラスチック製のスプーン・フォーク・ナイフ	テイクアウト用の飲料カップ	プラスチック製のお皿	その他	使い捨てのプラスチック製品や容器は使用しない
■全体	75.8	62.4	60.1	49.4	34.3	31.7	29.3	26.5	25.4	24.8	21.9	21.9	12.5	0.1	10.8
男性 20代	68.0	42.0	44.0	33.0	34.0	17.0	16.0	11.0	17.0	13.0	17.0	12.0	4.0	0.0	17.0
男性 30代	63.0	38.0	36.0	24.0	34.0	15.0	13.0	13.0	15.0	12.0	12.0	17.0	11.0	0.0	26.0
男性 40代	80.0	56.0	60.0	40.0	38.0	38.0	25.0	31.0	31.0	22.0	24.0	20.0	15.0	0.0	12.0
男性 50代	84.0	68.0	61.0	49.0	37.0	36.0	35.0	35.0	31.0	30.0	27.0	29.0	13.0	0.0	8.0
男性 60代以上	86.0	70.0	67.0	53.0	33.0	30.0	32.0	36.0	23.0	39.0	20.0	20.0	14.0	0.0	1.0
女性 20代	63.0	47.0	45.0	36.0	32.0	23.0	19.0	19.0	19.0	19.0	16.0	17.0	11.0	1.0	22.0
女性 30代	76.0	65.0	57.0	54.0	32.0	33.0	37.0	28.0	36.0	27.0	30.0	28.0	15.0	0.0	12.0
女性 40代	79.0	67.0	65.0	63.0	35.0	37.0	40.0	29.0	33.0	28.0	29.0	25.0	19.0	0.0	6.0
女性 50代	83.0	85.0	82.0	68.0	39.0	42.0	37.0	29.0	28.0	29.0	25.0	31.0	12.0	0.0	2.0
女性 60代以上	76.0	86.0	84.0	74.0	29.0	46.0	39.0	34.0	21.0	29.0	19.0	20.0	11.0	0.0	2.0

使い捨てプラスチックの中で、最も使われているものが「ペットボトル」。

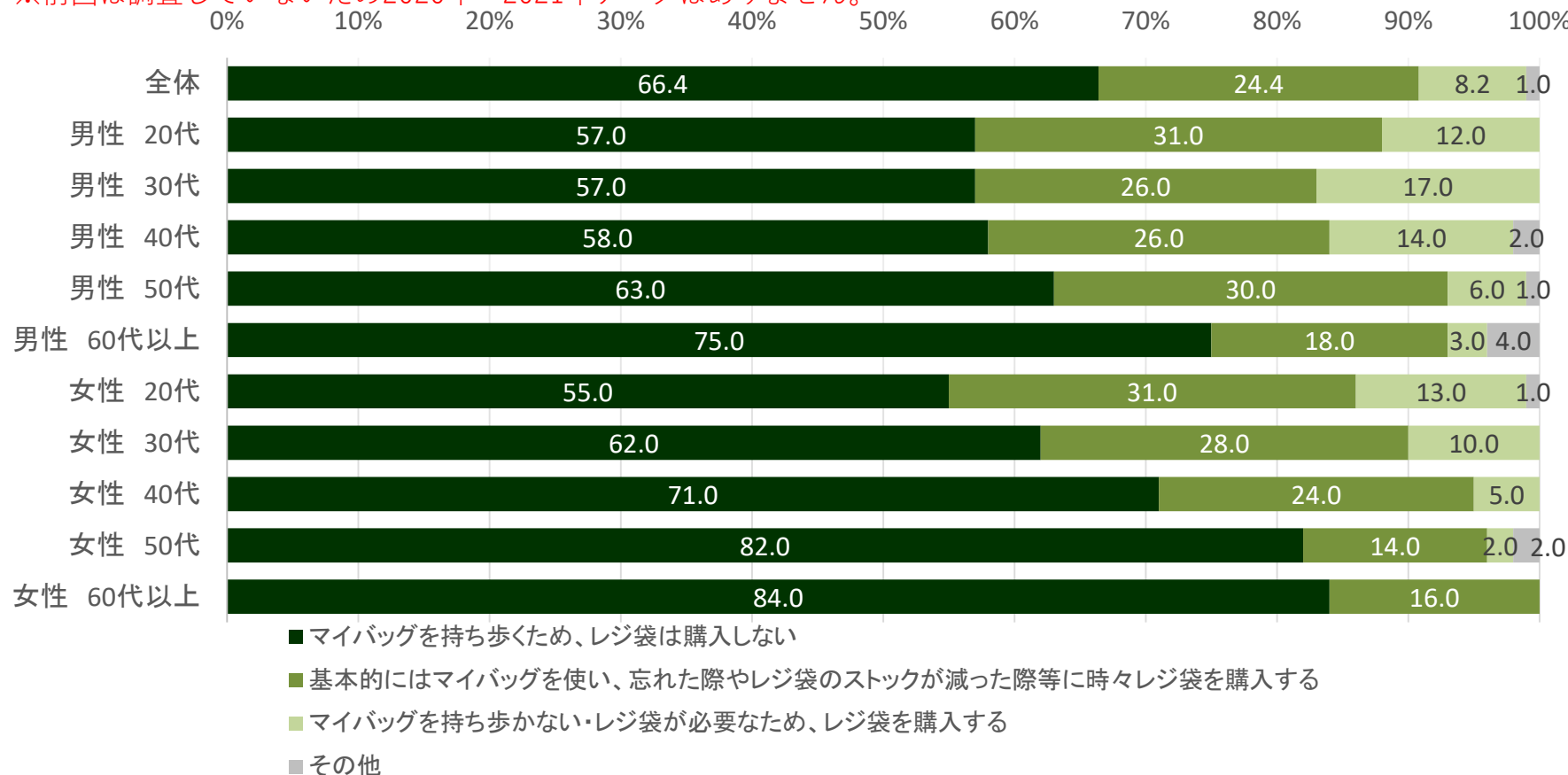
1位「ペットボトル」75.8%・2位「食品トレイ」62.4%・

3位「(シャンプー等)プラスチック製容器・袋に入ったもの」60.1%。

レジ袋の有料化に伴い、マイバッグを利用するようになりましたか？
 レジ袋を購入しますか？（単一回答）

N数 = 1,000名

※前回は調査していないため2020年・2021年データはありません。

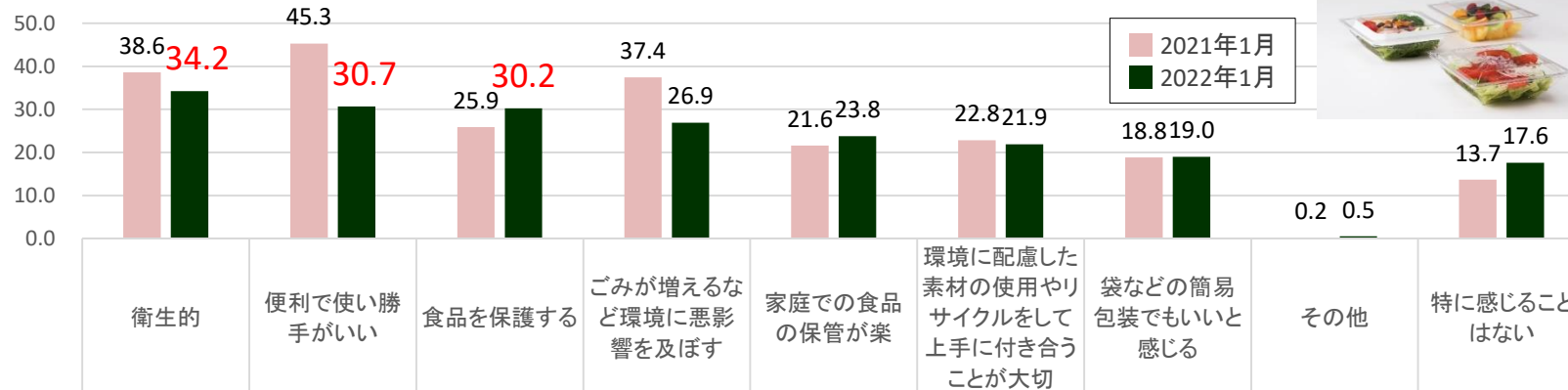


「マイバッグを持ち歩くため、レジ袋は購入しない」が
 66.4%と最も回答率が高い。

「基本的にはマイバッグを使い、時々レジ袋を購入する」と合計すると
 90.8%と、9割以上がマイバッグを使う習慣がある。

写真のようなプラスチック製食品容器についてのイメージとして当てはまるものを全てお選びください。（複数回答）

N数 = 1,000名



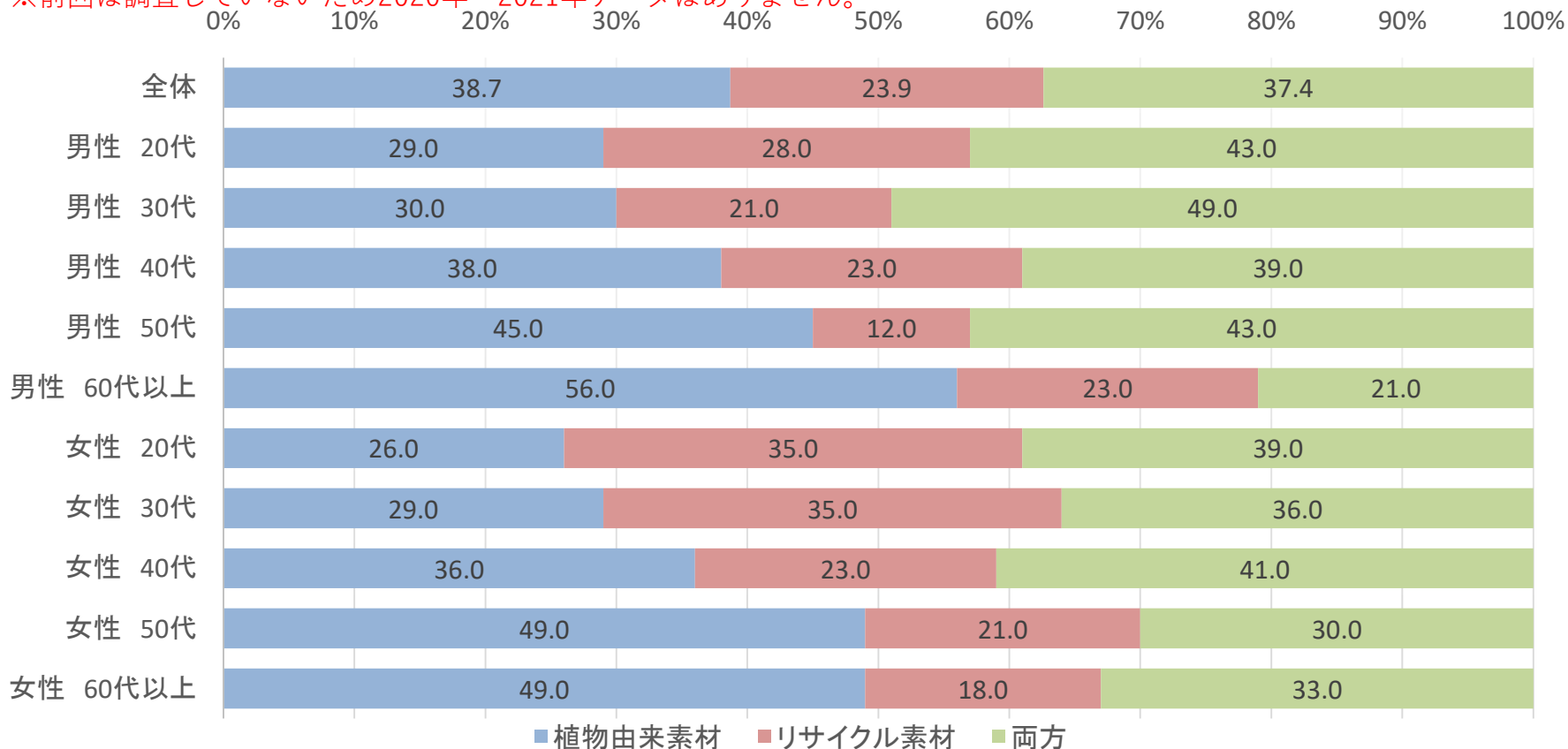
	衛生的	便利で使い勝手がいい	食品を保護する	ごみが増えるなど環境に悪影響を及ぼす	家庭での食品の保管が楽	環境に配慮した素材の使用やリサイクルをして上手に付き合うことが大切	袋などの簡易包装でもいいと感じる	その他	特に感じることはない
2021年1月	38.6	45.3	25.9	37.4	21.6	22.8	18.8	0.2	13.7
2022年1月	34.2	30.7	30.2	26.9	23.8	21.9	19.0	0.5	17.6
男性 20代	34.0	32.0	29.0	26.0	25.0	15.0	14.0	1.0	29.0
男性 30代	29.0	29.0	19.0	16.0	17.0	15.0	13.0	0.0	34.0
男性 40代	32.0	31.0	31.0	22.0	31.0	14.0	12.0	2.0	20.0
男性 50代	38.0	32.0	34.0	21.0	24.0	25.0	24.0	1.0	18.0
男性 60代以上	47.0	34.0	33.0	33.0	28.0	27.0	24.0	0.0	13.0
女性 20代	29.0	32.0	24.0	17.0	18.0	14.0	13.0	1.0	26.0
女性 30代	22.0	37.0	28.0	23.0	23.0	22.0	14.0	0.0	16.0
女性 40代	33.0	29.0	25.0	32.0	18.0	28.0	20.0	0.0	13.0
女性 50代	35.0	28.0	43.0	38.0	23.0	23.0	26.0	0.0	4.0
女性 60代以上	43.0	23.0	36.0	41.0	31.0	36.0	30.0	0.0	3.0

1位「衛生的」34.2%・2位「便利で使い勝手がいい」30.7%。
前回と比較し、1位と2位は逆転している。

プラスチック製食品容器の素材として、「植物由来素材」と「リサイクル素材」のどちらが環境にやさしいイメージがありますか？（単一回答）

N数=1,000名

※前回は調査していないため2020年・2021年データはありません。



1位「植物由来素材」38.7%

2位「両方」37.4%。

合計76.1%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがある。

植物由来素材を選んだ理由※抜粋

植物からできているので自然・エコなイメージがあるから

安全安心なイメージがあるから

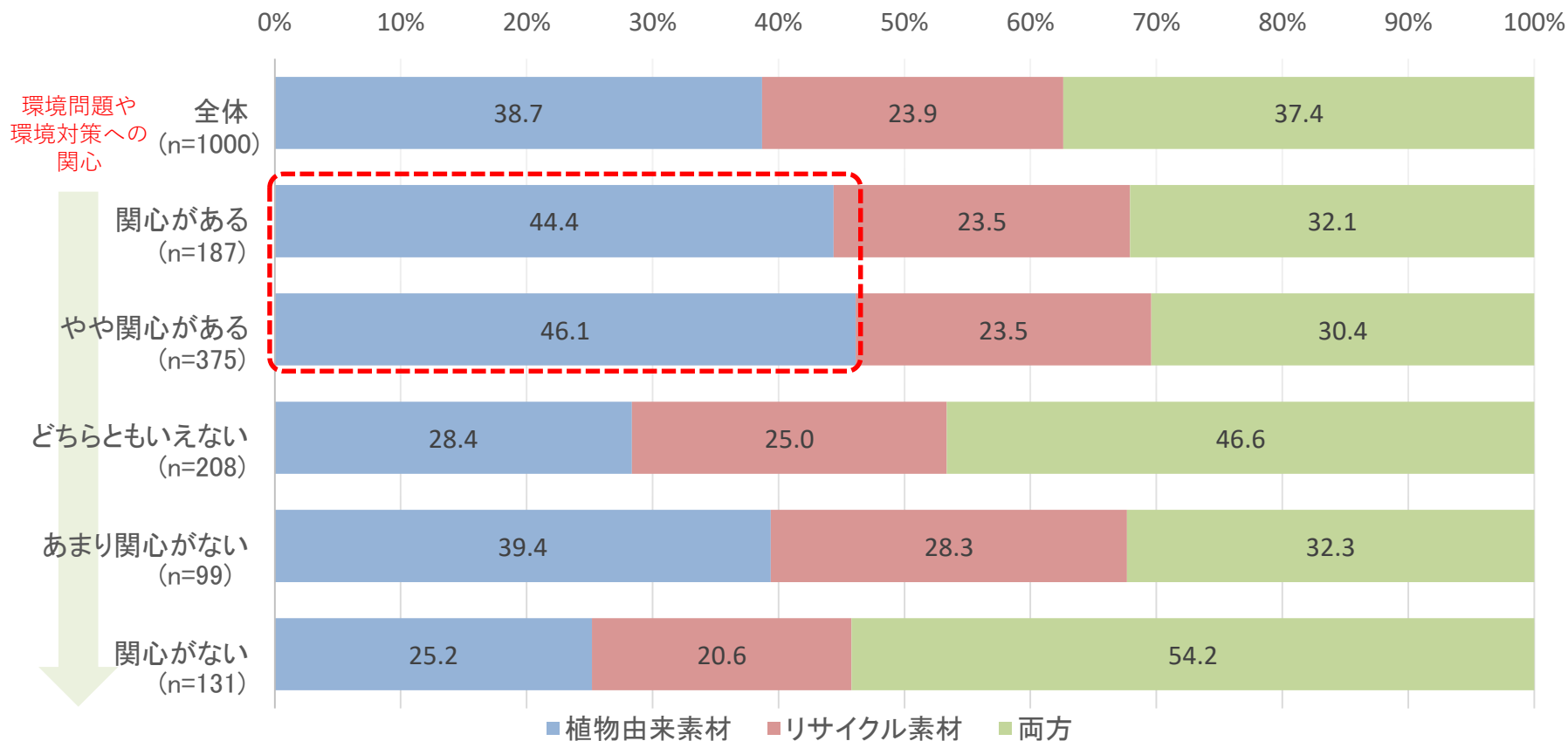
焼却しても大気中の二酸化炭素を増やさないから



Q1環境問題や環境対策への関心とQ9プラスチック製食品容器の環境にやさしいイメージの素材

をクロス集計（単一回答）

N数 = 1,000名



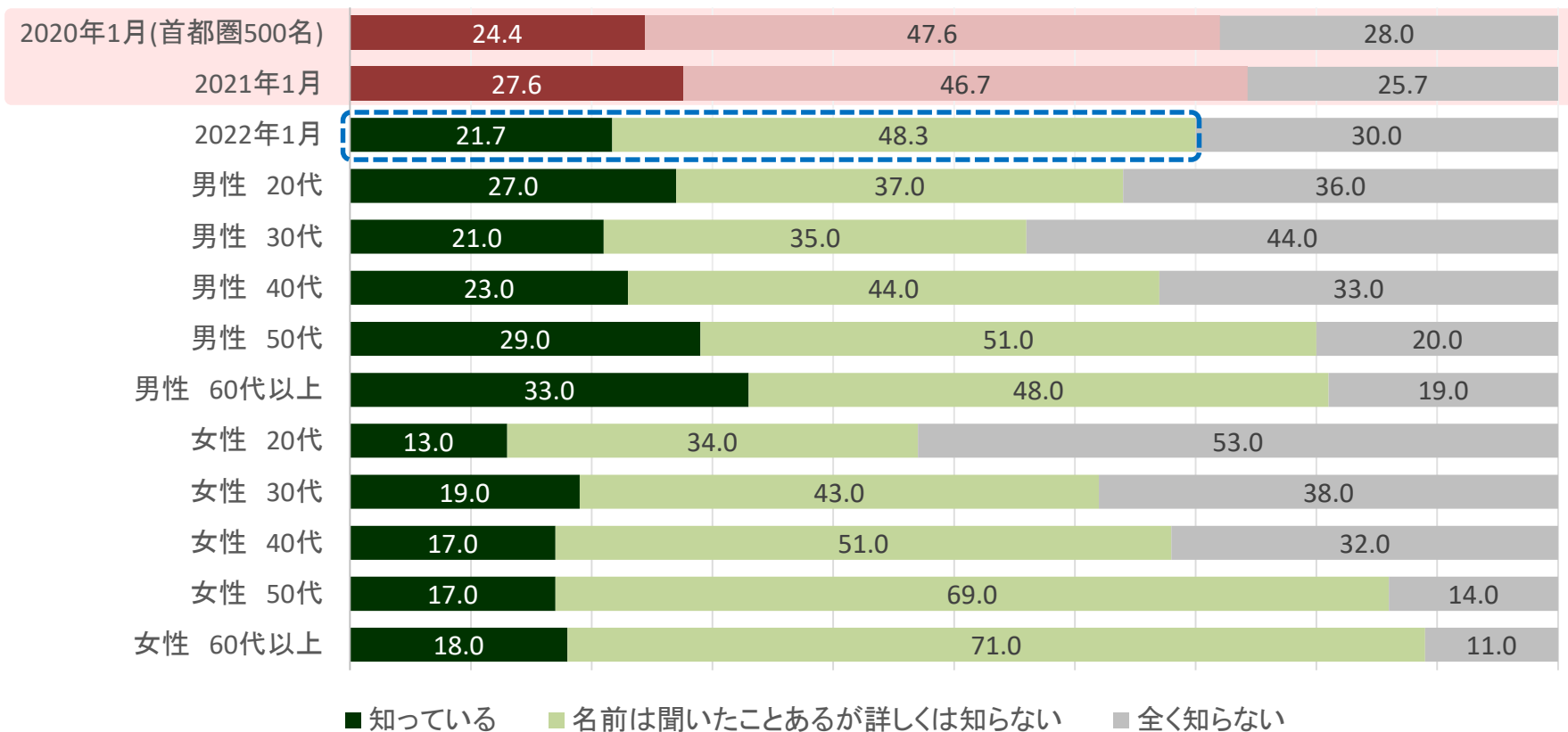
環境への関心度にかかわらず「リサイクル素材」よりも「植物由来素材」の方が回答率が高い。

環境に対して「関心がある/やや関心がある」と回答した方は4割以上が「植物由来素材」と回答している。

石油ではなく植物を原料とするバイオマスプラスチックについて知っていますか？
(単一回答)

N数 = 1,000名

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

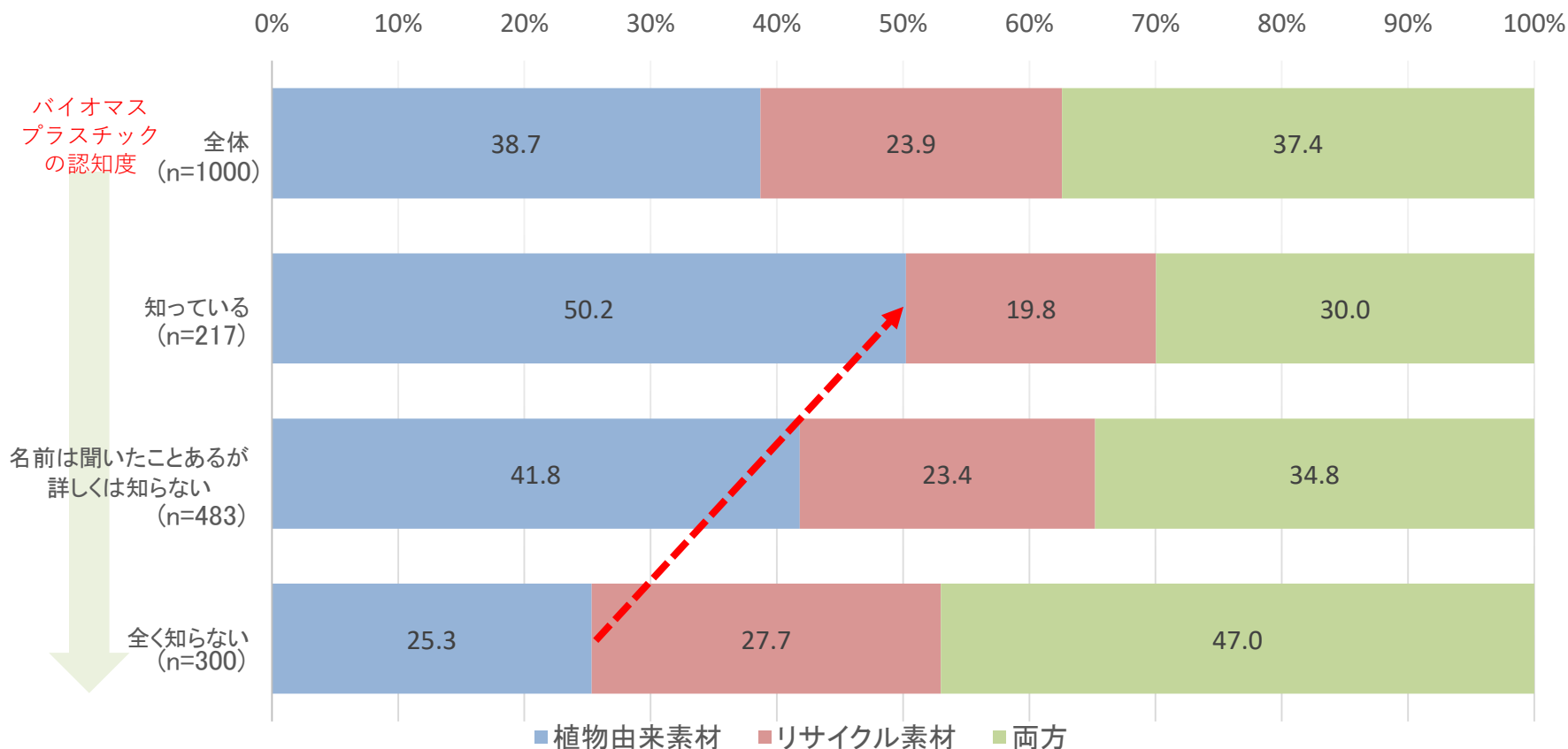


「知っている」21.7%・「名前は聞いたことがある」48.3%。
女性よりも男性の方が「知っている」の回答率が高い。

Q9プラスチック製食品容器の環境にやさしいイメージの素材とQ10バイオマスプラスチックの認知度

をクロス集計（単一回答）

N数 = 1,000名



バイオマスプラスチックの認知度が高いほど
環境にやさしいイメージの素材として「植物由来素材」の回答率が高い。
また、バイオマスプラスチックを「知っている」と回答した半数以上が
「植物由来素材」と回答している。

写真の2つのサラダは食材・内容量・価格は全く同じですが、食品容器の種類だけが違います。 N数=1,000名
どちらを購入したいと思いますか？ (単一回答)



①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

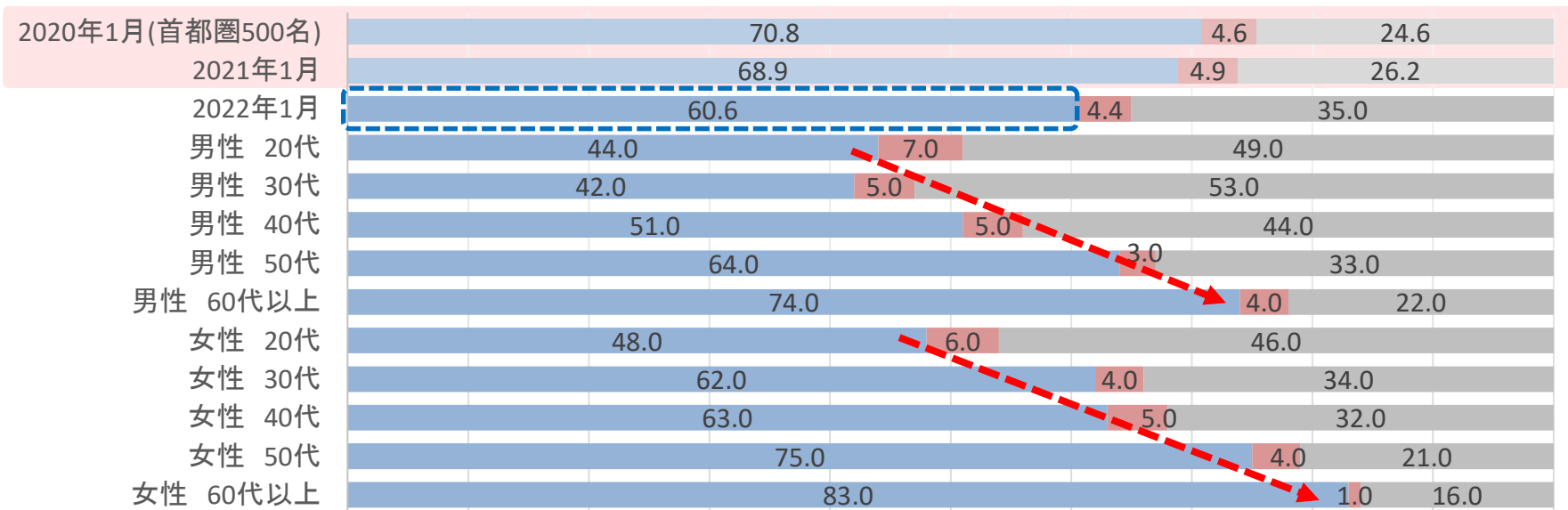
価格 298円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



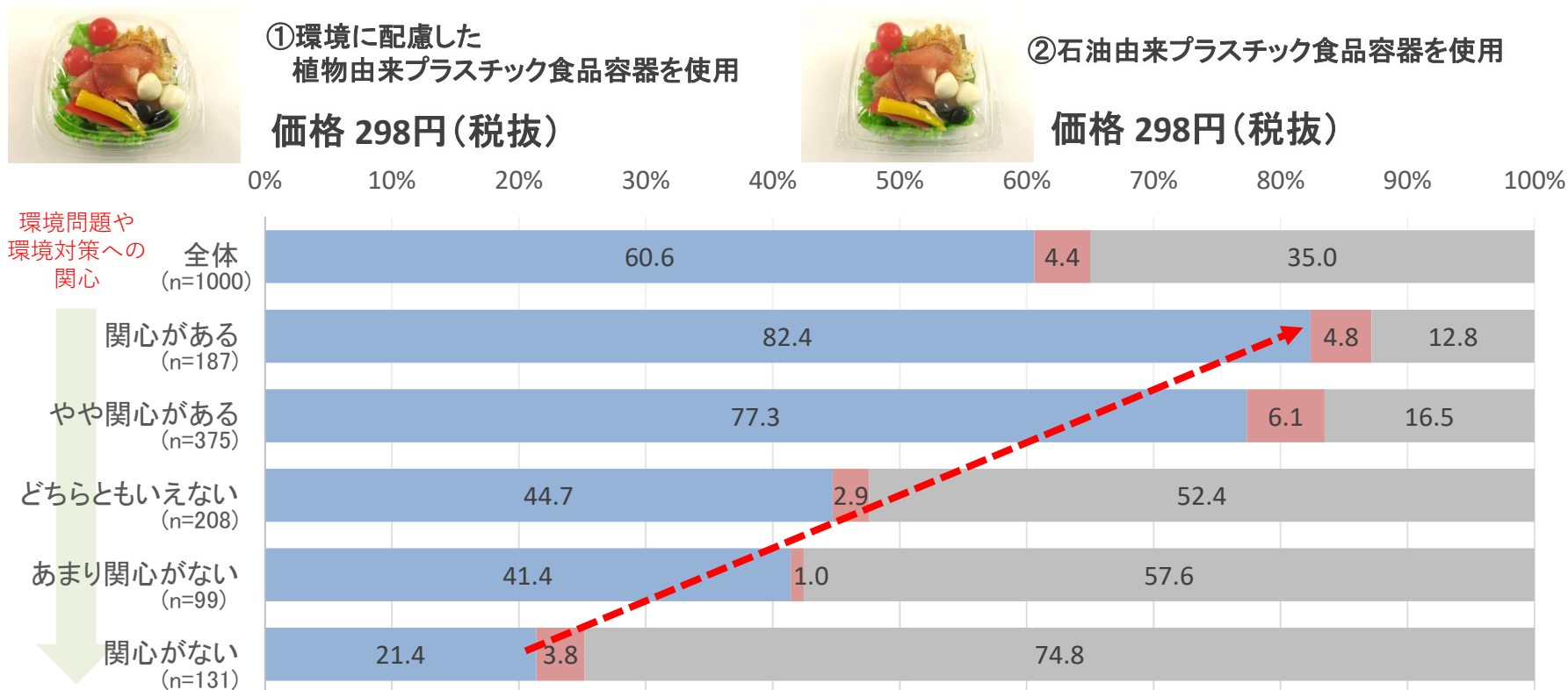
■ 環境に配慮した植物由来プラスチック食品容器のサラダ (298円) ■ 石油由来プラスチック食品容器のサラダ (298円)

■ 気にしない(どちらでもいい)

60.6%が「植物由来プラスチック食品容器のサラダ」を購入すると回答。
年代が高くなるにつれて、「植物由来」の回答率が高くなる。

Q1 環境問題や環境対策への関心とQ11環境配慮型容器の購入率（同価格での比較）を
クロス集計（単一回答）

N数=1,000名



- 環境に配慮した植物由来プラスチック食品容器のサラダ (298円)
- 石油由来プラスチック食品容器のサラダ (298円)
- 気にしない(どちらでもいい)

環境への関心が高い方ほど「植物由来」の回答率が高い。
環境に対し「関心がある/やや関心がある」と回答した方は
7割以上が「植物由来」と回答している。

写真の2つのサラダは食材・内容量は全く同じですが、食品容器の種類・価格が違います。 N数=1,000名
どちらを購入したいと思いますか？ (単一回答)



①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

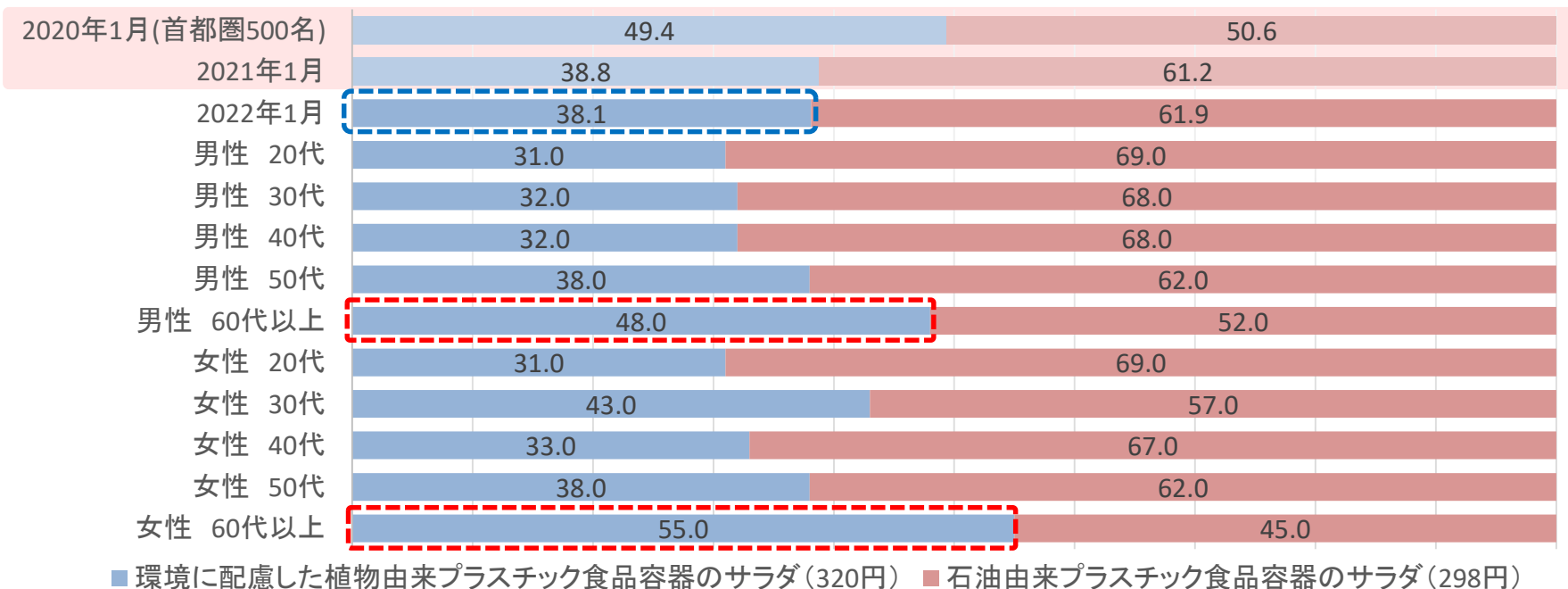
価格 320円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

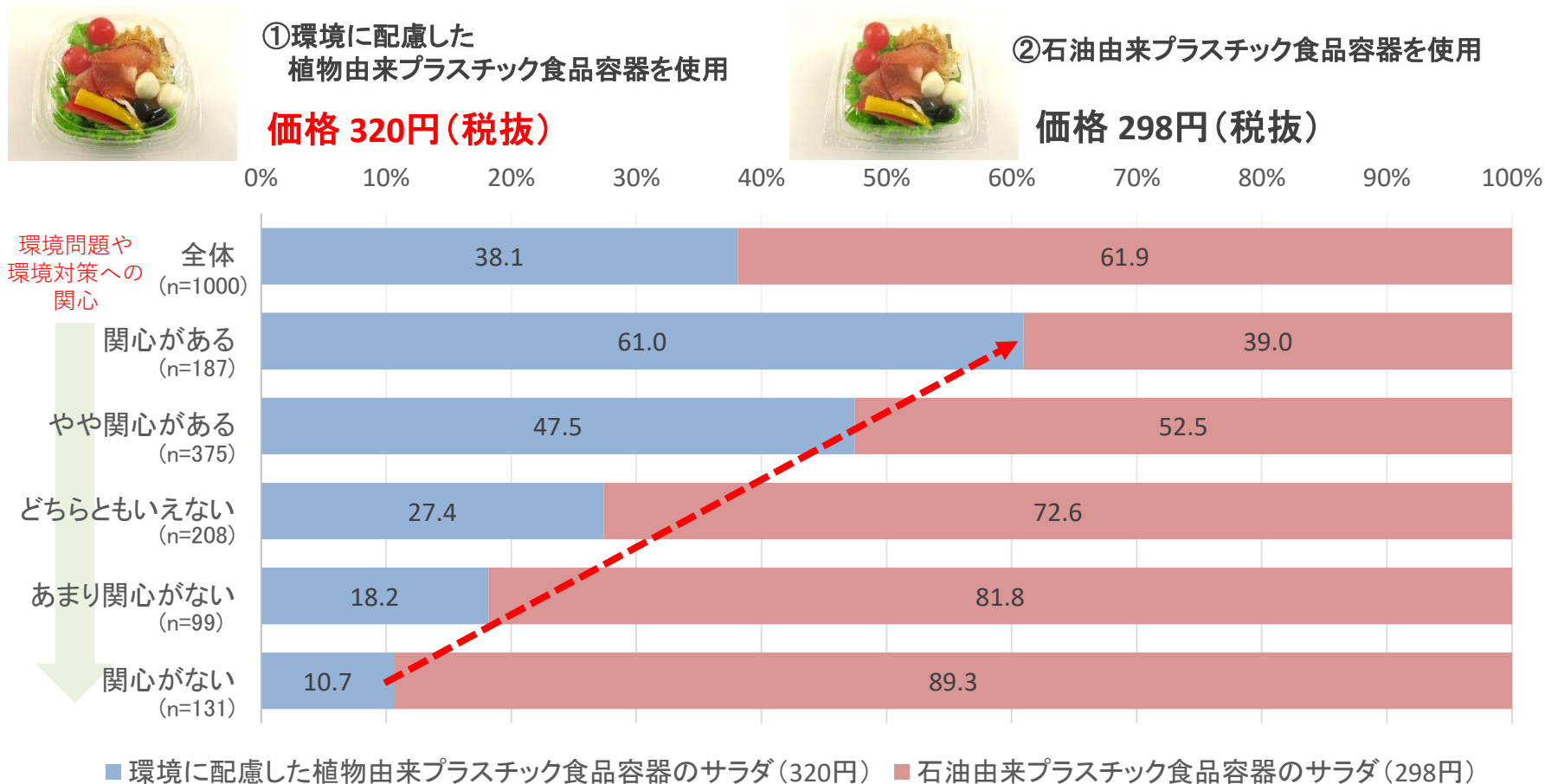
価格 298円(税抜)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



38.1%が「植物由来プラスチック食品容器のサラダ」を購入すると回答。
年代・性別にかかわらず価格が上がることで「植物由来」の回答率は下がるが
男女ともに60代以上の「植物由来」の回答率は他の年代より高い。

Q1 環境問題や環境対策への関心とQ12環境配慮型容器の購入率（価格違いでの比較）を N数=1,000名
クロス集計（単一回答）

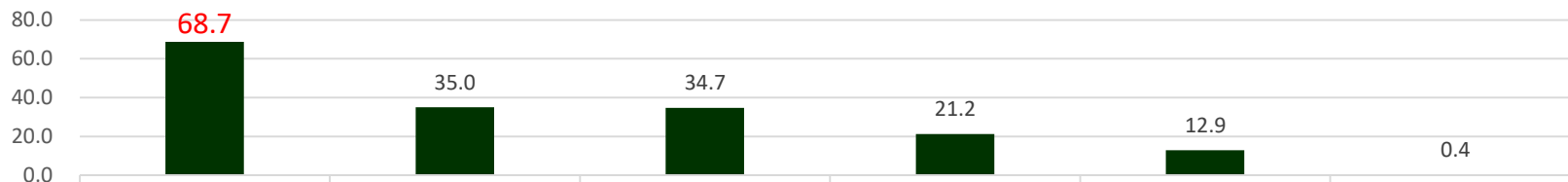


環境への関心が高い方ほど価格差があっても「植物由来」を選択する傾向に。
環境に対し「関心がある」と回答した方は
61.0%が「植物由来」と回答している。

あなたが食品を購入する際に、環境に配慮した商品だと分かりやすいのはどれですか？
当てはまるものを全てお選びください。（複数回答）

N数 = 1,000名

※前回は調査していないため2021年データはありません。



	売場でのパネルやPOP	商品のサーマルラベルやポイントシール	商品の印字・刻印	売場で流れる動画	ホームページ	その他
■全体	68.7	35.0	34.7	21.2	12.9	0.4
男性 20代	64.0	26.0	40.0	29.0	24.0	0.0
男性 30代	54.0	26.0	34.0	24.0	24.0	0.0
男性 40代	66.0	28.0	26.0	22.0	10.0	1.0
男性 50代	78.0	34.0	36.0	17.0	12.0	0.0
男性 60代以上	71.0	36.0	34.0	16.0	2.0	1.0
女性 20代	56.0	38.0	24.0	21.0	17.0	0.0
女性 30代	63.0	35.0	37.0	25.0	17.0	2.0
女性 40代	73.0	38.0	35.0	20.0	13.0	0.0
女性 50代	82.0	45.0	32.0	20.0	7.0	0.0
女性 60代以上	80.0	44.0	49.0	18.0	3.0	0.0

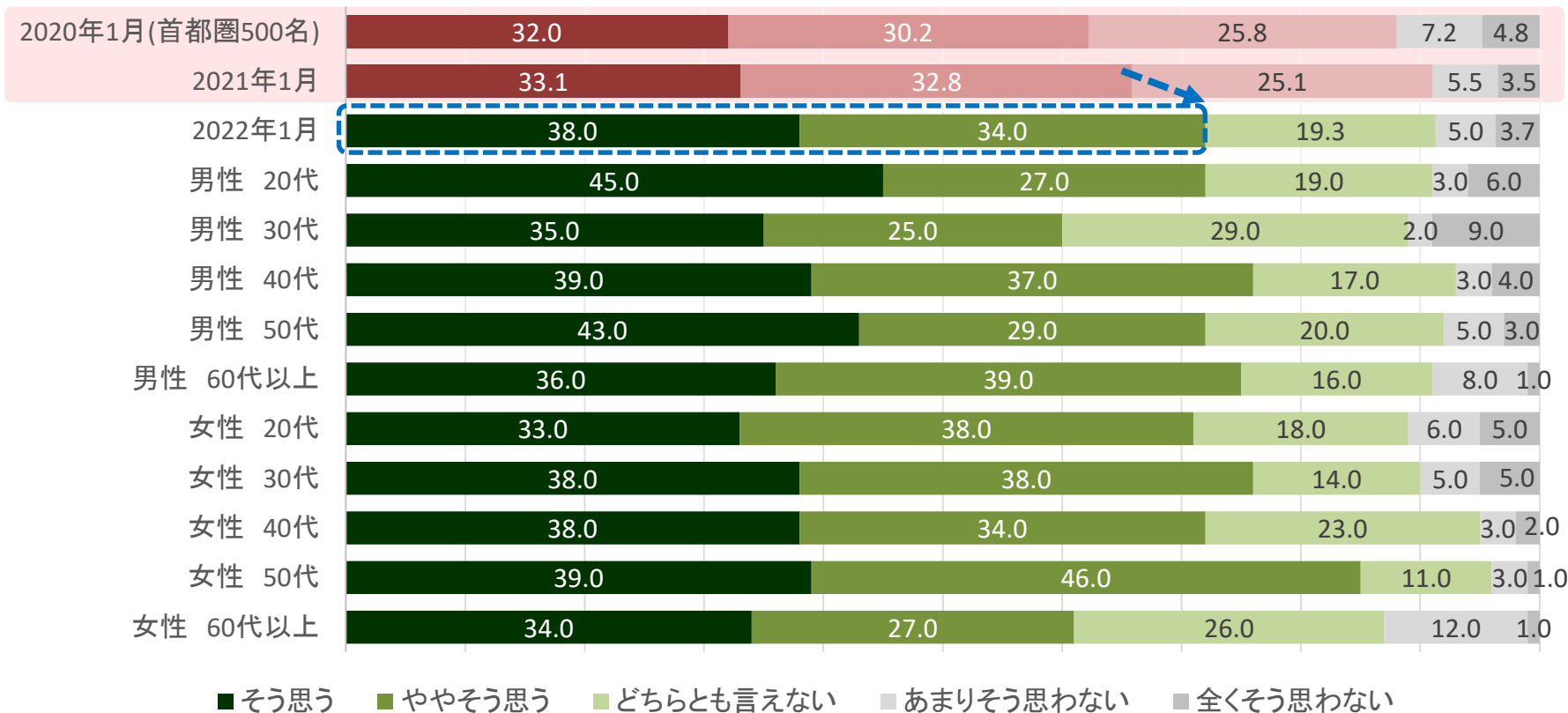
「売場でのパネルやPOP」が68.7%と最も回答率が高い。

次いで「商品のサーマルラベルやポイントシール」「商品の印字・刻印」等商品についている目印が分かりやすいという結果に。

もしプラスチックがあなたの生活からなくなったとしたら困ると思いますか？
(単一回答)

N数=1,000名

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



**「そう思う」38.0%・「ややそう思う」34.0%となり
合計72.0%が生活の中にプラスチックが必要不可欠だと感じている。
また、前回よりも「そう思う/ややそう思う」の回答率がわずかに上昇。**

カーボンニュートラルを「知っている」 27.8%

バイオマスプラスチックを「知っている」 21.7%

カーボンニュートラル⇒「知っている」 27.8%・「名前は聞いたことがある」 49.1%。
バイオマスプラスチック⇒「知っている」 21.7%・「名前は聞いたことがある」 48.3%。
どちらも、女性より男性の方が「知っている」の回答率が高い。

合計90.8%がマイバッグを使う習慣がある。

「マイバッグを持ち歩くため、レジ袋を購入しない」 66.4%・
「基本的にはマイバッグを使い、時々レジ袋を購入する」 24.4%。

プラスチック製食品容器のイメージは「衛生的」が1位で34.2%

2位「便利で使い勝手がいい」 30.7%・3位「食品を保護する」 30.2%

合計76.1%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがある。

プラスチック製食品容器の環境にやさしいイメージの素材は
1位「植物由来素材」 38.7%・2位「両方（植物由来素材とリサイクル素材）」 37.4%。
また、バイオマスプラスチックの認知度が高いほど、「植物由来素材」の回答率が高い。

合計72.0%が「生活からプラスチックがなくなったら困る」と回答

「そう思う」 38.0%・「ややそう思う」 34.0%。
前回よりも「そう思う/ややそう思う」の回答率がわずかに上昇。

【お問合せ】



営業本部	TEL(0568)67-5513(代)	FAX(0568)67-7721	〒484-0894	愛知県犬山市羽黒宮浦1番地
バイオ営業部	TEL(0568)67-5513(代)	FAX(0568)67-7721	〒484-0894	愛知県犬山市羽黒宮浦1番地
札幌営業所	TEL(011)864-8394(代)	FAX(011)864-8147	〒003-0024	札幌市白石区本郷通4丁目南1番2号
仙台支店	TEL(022)223-3113(代)	FAX(022)223-3115	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2丁目8番15号(太陽生命ビル5階)
東京支店	TEL(03)6702-0190(代)	FAX(03)5649-3606	〒103-0002	東京都中央区日本橋馬喰町1丁目6番7号
大宮営業部	TEL(048)650-3786(代)	FAX(048)650-3789	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1丁目62の1(ワコーレ大宮ビルII2階)
西東京営業部	TEL(042)724-1580(代)	FAX(042)724-6495	〒194-0022	東京都町田市森野1丁目25番5号(博信ビル3階)
名古屋支店	TEL(052)732-1411(代)	FAX(052)733-3740	〒464-0850	名古屋市千種区今池4丁目1番29号(ニッセイ今池ビル1階)
金沢営業所	TEL(076)237-5480(代)	FAX(076)237-8615	〒920-0062	金沢市割出町633番地の1(新保第2ビル3階)
静岡営業所	TEL(054)205-3231(代)	FAX(054)273-2750	〒420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町11番地7(大樹生命静岡駅前ビル5階)
大阪支店	TEL(06)6445-7722(代)	FAX(06)6445-7527	〒550-0003	大阪市西区京町堀1丁目6番4号(アーバンリサーチビル5階)
中四国支店	TEL(086)212-1611(代)	FAX(086)212-1615	〒700-0821	岡山市北区中山下1丁目2-3(太陽生命岡山ビル7階)
福岡支店	TEL(092)431-8032(代)	FAX(092)473-5908	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1丁目2番15号(事務機ビル5階)